

令和 5 年度

地域貢献活動 報告書



群馬県立県民健康科学大学



群馬県立県民健康科学大学

地域社会と交流を図り、

専門職向け事業

● 県立病院・県内病院連携事業



心臓血管センター

各病院が抱える課題解決に向け組織レベルで展開



がんセンター



精神医療センター



大学



小児医療センター

共通テーマ

- 4病院共通看護職員のキャリア開発の現状と課題
- 共同研究を通じた人材育成と大学への知の還元
- 備品の長期貸出
- 県内病院への看護教員派遣
「専門看護師・認定看護師による相談支援」

● 看護学教員養成課程

● 看護学実習指導者養成講習会



講義の模擬授業



演習の模擬授業

- 県内の看護学教員を目指す看護職や病院などで学生や後輩看護師教育に携わる看護職者への教育機会の提供
- 大学の教育理念に基づく独自のカリキュラム(厚労省認可)
- 大学看護学部での看護基礎教育と連動する本学ならではの教育展開

県民向け事業

● 教育普及事業

- 県民向けの「公開講座」「公開授業」「出前講座」により本学の教育と研究成果を県民に直接的に還元



公開講座の様子



出前講座の様子

● 放射線測定協力事業

- 放射線測定に関する助言・研修会
- 測定値の解釈・評価・公開
- 対策の立案・実施に関する助言
「県民の安全安心の提供」

● 地域連携推進事業

- 大学や本センターの活動を広く県民に周知
- 群馬県健康福祉部や他大学との連携、ボランティア活動により、県民の保健医療福祉に寄与する地域に根ざした取り組み



- リーフレットの作成
- News Letterの発行(年3回)
- 地域貢献活動報告書の発行



- ボランティア活動
(地域および病院での活動)

- 県内他大学との協力・連携事業
- 一般住民・団体を対象とした講演・研修
- 桂章地区・芳賀地区住民との協働
- 地域に開かれた図書館



研修会の様子



放射線測定の様子

県民 専

地域

● 目指す地域

看護学分野

- 看護学教員養成課程
- 看護学実習指導者養成講習会
- 看護職研究支援事業
- 看護師特定行為研修課程
- 県立病院・県内病院連携事業
- 健康福祉政策事業

県立の保健医療系大学として研究成果などを、県民は者、行政などに対し還元する療・福祉の向上に寄与する

地域連携センター2023

ともに発展することを目指して

● 看護師特定行為研修課程

- 指定研修機関として、群馬県内の慢性期・在宅医療等のニーズに対応し、手順書により一定の診療の補助ができる看護師を養成する機会の提供
- 授業ではeラーニングを導入、働きながら学修できる環境を準備



気管カニューレ交換
実技試験

● 放射線教育・研修事業



放射線治療講習会



MRI技術講習会

- 放射線治療講習会
- 診療放射線CT・MRI研究会
- 診療放射線技師継続教育等
- 群馬県診療放射線技師会講習支援
- 国際化研究支援
- 診療放射線技師核医学研究会

● 看護職研究支援事業 「看護研究セミナー」と「看護研究個別支援」



講義:研究計画書の作成



講義:文献検索と文献検討



講義:研究における倫理

看護研究個別支援

- 「看護研究セミナー」と「看護研究個別支援」による看護職者への研究活動の支援
- テーマに合わせた担当教員の決定、およそ10か月にわたる個別支援

行政

連携

貢献の方向性

診療放射線学分野

- 放射線教育・研修事業
- 放射線測定協力事業

- 地域連携推進事業
- 健康寿命延伸プロジェクト
- 教育普及事業

て、大学が所有する知的財産
じめ広く関係機関、医療従事
ことにより、県民の保健・医

行政との協働事業

● 健康寿命延伸プロジェクト

群馬県健康福祉部
健康長寿社会づくり推進課

県民健康科学大学

- 地域の実態把握・課題分析・健康課題の明確化
- 調査研究・実践プログラムの開発・人材育成

科学的根拠に基づいた健康づくり対策の展開

- 群馬県健康福祉部との共催による「元気に動こう・歩こうプロジェクト」の推進
- 市町村との共催による「健康寿命延伸シンポジウム」の開催
- 小規模町村支援事業(榛東村の健康づくり推進に関する包括協定)
- 健康寿命延伸プラットフォーム事業(館林市)への協力
- 健康増進効果検証事業(群馬県立ゆうあいピック記念温水プール)



元気県ぐんま

など



● 健康福祉政策事業

群馬県
健康福祉部
生活こども部

情報交換
マッチング

大学
看護学部
診療放射線学部

- 認知症サポーター・ステップアップ講座教材の普及活動
- 子育て講座プログラム政策・普及への協力
- 「若い世代の食育推進協議会」への参加
- 群馬県保健福祉事務所等における胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定



令和5年度地域貢献活動報告書の発刊に寄せて

本学の地域連携センターは、平成24年に大学の「教育・研究」と並ぶ重要なミッションである「地域貢献」を組織的に取り組む拠点として開設されました。県民の健康増進、保健・医療・福祉環境の質の向上を目的に、県民をはじめ教育機関・医療機関・医療従事者・行政等との連携を深めながら多様な事業を展開しております。関係者の皆様には、地域連携センターの事業推進のために、ご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行とともに、オンラインを併用しながら、対面での公開講座や研修会を再開し、以下の11事業を展開致しました。

「看護学教員養成課程」は、厚生労働省による専任教員養成講習会の認定を受け、看護学教育に携わる人材育成を目的に本学独自のカリキュラムを提供し、7名が修了しました。

「看護学実習指導者養成講習会」は、厚生労働省「保健師助産師看護師実習指導者講習会」の認定を受け、今年度開講しました。看護学実習指導者の養成を目的に、大学の教育理念に基づく独自のカリキュラムを編成した講習会を提供し、35名が修了しました。

「看護師特定行為研修課程」は、県内の慢性期・在宅医療等のニーズに対応し、特定行為に係る看護師研修制度の指定研修機関として、高度な臨床実践能力等を有する人材育成を目的に、今年度より血糖コントロールに係る薬剤投与関連の1区分1行為を加え3区分4行為を提供しました。第3期生として一般3名、区分別科目履修2名が修了しました。

「県立病院・県内病院連携事業」は、県立・県内病院の看護及び診療放射線部門の課題解決に向け、共通もしくは個別の課題に基づき、教員と専門職者の協働により取り組みました。

「看護職研究支援事業」は、県内の看護職者を対象にオンデマンド配信による看護研究セミナー3回および文献検索のみ対面演習を実施し、新規、継続をあわせて計9グループの個別支援を行いました。

「放射線教育・研修事業」は、がんプロフェッショナル養成や診療放射線技師の画像診断検査・撮像技術の向上を目的としたWEB講演会や研究会の実施、MRIを用いた共同研究、群馬県診療放射線技師会が開催する研修会への講師派遣、国際学会発表や核医学に関わるセミナー等を行いました。

「放射線測定協力事業」は、要請のあった地域の放射線量測定を実施し、測定結果に基づく評価を行い、県民の安全安心につながる情報提供を行いました。

「教育普及事業」は、第1・2回の公開講座ともに対面で開催し、参加者は計65名でした。出前講座数はのべ41回、のべ受講者数は1,761名でした。

「地域連携推進事業」は、Newsletterや地域貢献活動報告書の発行、事業全般のリーフレットの配布により県民や関係機関に向けた情報発信、ボランティア活動を実施しました。

「健康福祉政策事業」は、認知症サポーター養成支援として研修教材の動画を公開しました。また、県民の健康福祉施策については、県の関連機関と協働し、子育て講座のプログラムの作成や健康教育の実施、医療被ばく線量測定に関する意見交換を行いました。

「健康寿命延伸プロジェクト」は、県の健康福祉部及び県内市町村と協働し、榛東村に対する小規模町村支援事業を継続して実施しました。その他、ぐんま元気エクステンションセミナーを計25件、開催しました。

以上のように、1年間の事業内容をまとめ、活動報告書を発行できる運びとなりました。

今後も、センター事業の推進・発展に向けて尽力して参ります。末筆ではございますが、関係者の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げますとともに、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年10月

地域連携・キャリア開発センター長 廣瀬 規代美

目 次

I 地域連携センターの活動

1. 群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター概要

1) 設置概要	2
2) 事業概要	3

2. 事業報告

1) 看護学教員養成課程	4
2) 看護学実習指導者養成講習会	6
3) 看護師特定行為研修課程	8
4) 県立病院・県内病院連携事業	10
5) 看護職研究支援事業	12
6) 放射線教育・研修事業	13
①放射線治療講習会	
②診療放射線CT・MRI研究会事業	
③診療放射線技師継続教育等事業	
④群馬県診療放射線技師会講習支援事業	
⑤国際化研究支援事業	
⑥診療放射線技師核医学研究会事業	
7) 放射線測定協力事業	19
8) 教育普及事業	20
9) 地域連携推進事業	22
10) 健康福祉政策事業	23
11) 健康寿命延伸プロジェクト	25
12) ピックアップ	27
13) Newsletter	28

II その他の地域貢献活動

1. 学会活動	36
2. 一般住民・団体対象の講演等	44
3. 保健医療専門職対象の講演等	45
4. 行政組織での活動	48
5. 任意団体での活動	49
6. 他教育機関非常勤講師	51
7. 報道記事	54

III 関連規程

・群馬県立県民健康科学大学地域連携センター設置運営規程	56
・群馬県立県民健康科学大学地域連携センター運営会議 及び地域連携センター運営委員会設置運営細則	57

1) 設置概要

本学はこれまで、看護師、保健師及び診療放射線技師の養成校として、臨床現場で活躍できる多くの医療専門職を育成することで、地域の医療水準及び県民の健康水準の向上に貢献してきました。そのような中、平成19年の学校教育法の改正等により、「社会貢献」が「教育」、「研究」に次ぐ大学の第3の役割に位置づけられたことを踏まえ、本学においても、これまで以上に地域貢献を推進するため、平成24年4月に大学附属機関として、地域連携センターを設置しました。

本学地域連携センターは、県立の医療系大学として、大学が所有する知的財産や研究成果等を、県民をはじめ、広く教育機関、医療機関、医療従事者、行政等に対し還元することにより、県民福祉の向上に寄与することを目的として、地域貢献に関する各種事業に取り組みます。

■地域連携センター運営会議構成員一覧（令和5年4月1日時点）

区 分		氏 名
委員長	地域連携センター長、健康福祉政策事業	廣 瀬 規代美
副委員長	地域連携副センター長、健康寿命延伸プロジェクト	大 澤 真奈美
	地域連携副センター長、国際化研究支援事業	小 倉 敏 裕
委 員	看護学部長	横 山 京 子
	診療放射線学部長	下瀬川 正 幸
	看護学教員養成課程、看護学実習指導者養成講習会	高 橋 裕 子
	看護師特定行為研修課程	飯 田 苗 恵
	県立病院・県内病院連携事業（看護学部）	行 田 智 子
	県立病院・県内病院連携事業（診療放射線学部）	上 原 真 澄
	看護職研究支援事業	上 山 真 美
	放射線教育・研修事業 放射線治療講習会事業	佐々木 浩 二
	放射線教育・研修事業 診療放射線技師CT・MRI研究会事業	林 則 夫
	放射線教育・研修事業 診療放射線技師継続教育等事業	渡 部 晴 之
	放射線教育・研修事業 群馬県診療放射線技師会講習支援事業	五十嵐 博
	放射線教育・研修事業 診療放射線技師核医学研究会事業	大 崎 洋 充
	放射線測定協力事業	杉 野 雅 人
	教育普及事業	寺 下 貴 美
	地域連携推進事業	狩 野 太 郎
	事務局	松 本 万理子
	(県健康福祉部健康福祉課)	古 沢 実知也
	(学外有識者：県看護協会)	神 山 智 子
	(学外有識者：県診療放射線技師会)	後 閑 隆 之
	(学外有識者：県医師会)	瀬 古 聖 一
	(学外有識者：県立心臓血管センター)	内 藤 滋 人

2) 事業概要

事業名	事業概要
1 看護学教員養成課程 P.4～5	看護師養成教育機関の看護学教員や臨床現場で教育的役割を担う教育担当者を対象とし、看護基礎教育に携わる教育者としての役割を遂行するために必要な知識・技術を教授する。大学主体で看護基礎教育に携わる教育者の教育実践能力の維持向上を図る。
2 看護学実習指導者養成講習会 P.6～7	県内の保健師、助産師、看護師、または准看護師養成所の実習施設で実習指導の任にある者、または将来実習指導者となる予定の者を対象に、看護基礎教育における実習の意義と実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導を行うために必要な知識・技術を教授する。大学の企画・運営により看護学実習指導に携わる人材を育成するための学修機会を提供する。
3 看護師特定行為研修課程 P.8～9	看護師特定行為研修の研修機関として指定を受け、在宅医療に貢献できる特定行為研修修了者を育成するための研修の機会を提供する。
4 県立病院・県内病院連携事業 P.10～11	県病院局総務課、県立4病院（心臓血管センター、がんセンター、精神医療センター、小児医療センター）と本学で、4病院が抱える課題、たとえば人材育成等について、その解決に向けた連携事業を継続して、組織レベルで展開する。
5 看護職研究支援事業 P.12	県内の病院、行政機関、健診機関、訪問看護ステーション、福祉施設、事業所等に所属する看護師、保健師、助産師を対象に、看護研究を実施する際に必要な研究の基礎的知識を習得するための看護研究セミナーと、研究テーマに沿って看護研究の一連の過程を本学教員が支援する看護研究個別支援を実施し、県内の看護職者の研究活動を支援することで、研究能力の向上と県民の健康の保持・増進に寄与する研究成果の産出を図る。
6 放射線教育・研修事業 P.13～18	(1) 放射線治療講習会 がんプロフェッショナル（医学物理士、放射線治療専門放射線技師等）の教育および養成のために講演会を開催し、放射線治療技術の普及や向上とともに、がんの早期発見に繋がる検診への関心を高める。 (2) 診療放射線CT・MRI研究会事業 県内の診療放射線技師の臨床研究支援事業として、臨床現場における画像診断検査の向上・発展を目的とする研究の推進と発表に必要な方法を討論する研究会を実施する。 (3) 診療放射線技師継続教育等事業 県内診療放射線技師の撮像技術向上事業として、「MRI専門技術者」資格の取得を視野に入れた講習会等を開催するほか、MRIを用いた共同研究と研修会を実施する。これらにより、診療放射線技師が最新の知識・技術を習得できるようにし、がん等の疾病の早期発見の機会の増加を図る。 (4) 群馬県診療放射線技師会講習支援事業 群馬県診療放射線技師会が開催する「令和3年厚生労働省告示第273号研修」へ講師の派遣等を行い、地域の診療放射線技師の技術向上に貢献する。また、関連の講習事業についても開催支援を行い、診療放射線技師のさらなる知識・技術の向上に貢献する。 (5) 国際化研究支援事業 県内診療放射線技師の研究支援事業として、国際学会発表を目的とした講習会等を実施する。 (6) 診療放射線技師核医学研究会事業 県内診療放射線技師および学生を対象に、核医学検査に関する講習会を開催する。また、技術支援を通して核医学の臨床研究や多施設研究の推進を行う。
7 放射線測定協力事業 P.19	放射線測定に関する助言・指導、測定値の解釈・評価、対策の立案・実施に関する助言等を通じて、県民に安全・安心の提供を図る。
8 教育普及事業 P.20～21	県民向けの公開講座、出前講座及び公開授業等を行い、地域貢献活動を積極的に行う。
9 地域連携推進事業 P.22	本センターの活動を広く県民に周知するために、地域連携センターNews letter及び地域貢献活動報告書を発行する。また、学生ボランティア活動の支援体制の充実に取り組む。
10 健康福祉政策事業 P.23～24	健康福祉政策事業では、群馬県健康福祉部との情報交換会継続と、マッチングした事業の展開を図る。
11 健康寿命延伸プロジェクト P.25～26	平成28年度政策プレゼン「健康寿命延伸プロジェクトⅡーぐんまエクステンションプラン」を展開するため、群馬県健康福祉部及び県内市町村と協働し、「健康寿命延伸シンポジウム」及び「小規模町村支援事業」、「ぐんま元気エクステンションセミナー」などに取り組む。

看護学教員養成課程

担当者／看護学部 ◎高橋（裕）講師、松田教授、山下教授、服部准教授、河内講師

1 事業目的・内容

令和5年度厚生労働省による専任教員養成講習会の認可を受け、県の委託契約に基づき大学が企画・運営を行う。

- 1 新カリキュラムによる授業（750時間）を提供
- 2 公開授業開催（7月、2月予定）
- 3 運営会議（年8回予定）
- 4 一般教育訓練給付金指定講座の申請
- 5 令和6年度学生募集20名
 - ・ 課程紹介パンフレット、ポスターの作成・配布
 - ・ 群馬県広報、上毛新聞に学生募集の案内を掲載
 - ・ 説明会の開催（7月予定）
 - ・ 令和6年度入学選抜試験（1次募集：12月・2次募集：2月）
- 6 申請または報告等に関する手続
 - ・ 認可申請の手続き：2月
 - ・ 報告書の作成：3月

2 実施結果

- 1 課程生7名（退学1名）への授業計画に沿った授業の実施
20科目、カリキュラム750時間
教育実習実施：令和5年10月16日～11月17日
- 2 公開授業開催
第1回：令和5年7月27日・28日（参加者22名）
第2回：令和6年2月2日（参加者10名）
- 3 運営会議（7回開催）
学生募集、入学選抜試験、修了判定などに関すること
- 4 一般教育訓練給付金指定講座の申請：制度利用者なし
- 5 令和6年度学生募集20名
 - ・ 課程紹介パンフレット、ポスターを募集要項とともに関東甲信越・東北地方に配布
 - ・ 群馬県広報、上毛新聞に学生募集案内を掲載
 - ・ 説明会の実施（7月30日：10名、9月13日：35名）

- ・群馬県看護学会にて、県内施設の活動紹介として展示、学生募集の説明実施
- ・令和5年度入学者選抜試験
 - 1次募集：12月14日 15名合格（1名辞退）
 - 2次募集：2月15日 2名合格
- 入学予定者16名

6 厚生労働省への認可申請書類、報告書作成

- ・認可申請の手続き：2月
- ・報告書の作成：3月

3 事業成果・効果

受講生7名が修了した。授業評価、修了時アンケートの結果から、各科目、効果的な授業が展開され目標達成につながった。

入学者確保に向けて、学生募集活動やHPの内容充実などを図った結果、受験者の増加につながった。

4 事業の課題及び改善の方向性

課題は、入学者の継続的充足である。公開授業を県内病院にも周知し、参加を促して本課程への関心を高めたい。

看護学実習指導者養成講習会

担当者／看護学部 ◎高橋（裕）講師、松田教授、大澤教授、行田教授、金谷准教授

1 事業目的・内容

令和5年度より、群馬県内の看護学実習指導者を養成するための講習の機会を提供する。県との委託契約に基づき大学が企画・運営を行う。

1 講習会の実施

- ・講習会実施期間：令和5年7月10日（月）～9月14日（木）（実質30日間）

2 受講生への授業の提供

- ・授業科目7科目（10単位180時間）

3 運営会議（年3～5回の予定）

4 HP作成

講習会の内容、受講生募集案内などの掲載

5 令和6年度受講生募集案内・講習会実施計画の作成

6 報告等に関する手続

実績報告書の作成：10月

2 実施結果

1 講習会の実施

- ・講習会実施期間：令和5年7月10日（月）～9月14日（木）

2 受講生（一般30名、特定分野6名）への授業計画に沿った授業の実施

- ・授業科目7科目（10単位180時間）
- ・参加観察実習実施：令和5年8月28日（月）～9月5日（火）

実習施設：群馬県立心臓血管センター、伊勢崎市民病院、
群馬県看護協会訪問看護ステーション

3 運営会議（6回）

4 HP作成

- ・講習会の内容、受講生募集案内などを掲載

5 令和6年度受講生募集案内・講習会実施計画の作成

- ・受講生 一般：48名、特定分野：8名
- ・講習会実施期間：令和6年7月22日（月）～9月27日（金）

6 報告等に関する手続

- ・11月6日医務課と打ち合わせ会議開催、実績報告書提出

3 事業成果・効果

一般30名、特定分野5名が講習会を修了した。

授業評価、修了時アンケートの結果から、各科目、効果的な授業が展開され、目標達成につながった。

4 事業の課題及び改善の方向性

県内病院、医務課より、受講定員を増やしてほしいという要望があった。教育の質を担保しつつ定員を検討していく。

今年度、開催会場が複数箇所になったことで、受講生・授業担当者の負担となった。次年度は全期間大学で開催できるよう、教室などを確保して、学習環境を整えていきたい。

看護師特定行為研修課程

担当者／看護学部 ◎飯田教授、行田教授、横山教授、廣瀬教授、清水准教授、大川准教授、佐藤講師、
佐々木講師、田村助教
診療放射線学部 瀬川教授

1 事業目的・内容

群馬県内の慢性期・在宅医療等のニーズに対応し、チーム医療のキーパーソンとして貢献できる特定行為研修修了者を養成するための研修の機会を提供する。

1 課程生への研修の実施

- ・一般4名（病院1名、訪問看護3名）
- ・区分別科目追加履修2名（血糖コントロールに係る薬剤投与関連）

2 研修運営委員会（年8回程度の予定）

3 研修管理委員会（年2回程度の予定）

4 令和6年度入学生の募集・入学試験

- ・一般：1次8月31日、2次12月8日
- ・区分別科目追加履修：12月8日

5 課程生の所属施設看護管理者を対象とした会議

（研修修了者の活動環境の整備について）

6 届出、申請または報告等に関する手続

- ・前橋赤十字病院に血糖コントロールに係る薬剤投与関連の追加の変更申請を依頼する。

7 フォローアップ研修の企画・開催

8 新たな区分の導入に関する検討

9 専門的な教育訓練給付金等の申請が可能となる教育環境整備の検討

10 群馬県健康福祉部医務課との情報交換、連携等による県内特定行為研修の推進

2 実施結果

学内教員、非常勤講師、模擬患者、協力施設の指導者の協力を得て研修機会を提供した。

1 一般4名、区分別科目追加履修2名への研修の実施

- ・「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の区分でポータブルエコー活用の授業、臨地実習課題を導入した。

2 研修運営委員会の開催

- ・定例8回、臨時：対面1回、持ち回り2回

3 研修管理委員会の開催

- ・ 2 回： 7 月書面会議、 3 月オンライン会議

4 令和 6 年度入学生の募集・入学試験の実施

- ・ 9 月、一般 7 名合格

5 課程生の所属施設看護管理者を対象とした会議

- ・ 9 月、対象の参加者は 7 名

6 届出、申請または報告等に関する調整・手続

- ・ 新規協力施設申請：黒澤病院、太田記念病院、利根中央病院・診療所、たきざわ医院（太田）

7 フォローアップ研修の企画・開催

- ・ 第 1 回： 9 月、気管カニューレ交換、症例検討会
- ・ 第 2 回： 3 月、今年度の活動報告及び次年度予定

8 新たな区分の導入に関する検討：関係者への聴取等

9 本課程で全ての単位を認定する方向を検討、e ラーニング教材を検討し、次年度より区分別教材の契約業者の変更を決定

10 群馬県及び県内看護系 2 大学と連携、4 施設主催「令和 5 年度群馬県看護師特定行為研修修了者フォローアップ研修会」を開催

3 事業成果・効果

4 期生の一般 3 名、区分別科目履修 2 名が修了した。フォローアップ研修では、今年度より気管カニューレ交換を加えた。新たな区分・ポータブルエコー活用の導入も円滑であった。県と連携した県内の特定行為研修修了者対象のフォローアップ研修の開催は、県内の特定行為研修の推進に繋がると考える。

4 事業の課題及び改善の方向性

課題は①ポータブルエコー活用の可能性、②新たな区分の導入、③職業実践力育成プログラム（BP）の認定、④群馬県健康福祉部医務課との連携による県内の特定行為研修の推進である。

県立病院・県内病院連携事業

担当者／看護学部 ◎行田教授、清水准教授、富永講師、戸谷講師、和田助教、鈴木(峰)助教、福田助教
診療放射線学部 ◎上原教授、渡部准教授

1 事業目的・内容

- ・県立4病院共通課題事業及び病院別課題解決のための連携事業を組織レベルで展開する。
- ・人材育成やSDに関する課題解決のための支援、臨床における課題解決のための支援、各種講演や研修会の開催等を検討・実施する。
- ・新規：県内病院の課題解決に向けて、専門看護師によるニーズに応じた相談・支援を実施する。

<看護部門>

1 県立病院連携事業の共通課題の検討支援

- ①病院局経営戦略課看護人材支援専門官および4病院看護部長等とともに、残された課題の検討を継続する。
- ②コロナ禍の影響を受けた新人看護師への教育体制整備を目的に、具体的内容の検討、実施・評価の過程を通じた情報共有・意見交換により教育体制整備の充実に向けた支援を図る。
- ③副看護師長を対象とした看護管理コースの研修プログラムの目標設定、教育内容の精選と教育方法の明確化等、教育プログラムの課題解決への支援を図る。

2 病院別課題解決における支援

- ①小児医療センターの要請に応じて、連携事業を継続して実施する。

3 新規：県内病院における課題解決に向けた相談・支援

課題・ニーズに応じて専門看護師（老年看護、がん看護）による専門的立場からの相談・支援等を予定する。

<診療放射線部門>

- 1 共同研究等を通じた人材育成と大学への知の還元（共通）
- 2 備品の貸出（共通）
- 3 備品の貸出事業の利用拡大に向けての備品データベースの構築

2 実施結果

<看護部門>

1 県立4病院連携事業会議の開催

- ①日時：1回目 令和5年9月25日（月）10:30～11:30、
Zoom（ハイブリッド型）
2回目 令和6年2月5日（月）10:00～11:30、
Zoom（ハイブリッド型）

②出席者：県立病院局課長・看護人材支援専門官・係長、
県立4病院看護部長・副看護部長・教育担当師長
センター長・学部長・事業責任者・担当者

- ③内容：コロナ禍で学生時代を過ごした新人看護師の教育体制の支援および2年目看護師の支援継続について、意見交換を行った。2回目はディスカッションを取り入れ、経験が積み上がらない新人、繰り返し質問しても、同じ失敗を繰り返す看護師への対応や指導者があきらめず、根気よく育てられる方法について行った。
- 2 県立病院より個別の依頼はなく、研修等は行っていない。
 - 3 県内病院連携事業は、1施設で開始したが、終了した。別施設にてニーズに合わせて実施する。

<診療放射線部門>

- 1 コロナ禍の影響により県立病院等の共同研究に対するニーズは令和4年度に引き続き要望が寄せられなかったため実施しなかった。
- 2 県内病院に対する備品貸し出し事業については県内病院に4件、県内大学に1件の備品貸し出しを行った。
- 3 備品貸し出し事業の利用拡大に向けての備品データベース構築のための準備としてPC、データベースソフトの準備を行い、データベースフォーマットの設計・試作を行った。

3 事業成果・効果

<看護部門>

共通課題である「コロナ禍で学生時代を過ごした新人看護師の傾向と臨床現場の教育支援」をテーマに新人看護師と2年目看護師への教育支援体制を整備し、実施・評価を行った結果、効果が確認出来たため、今年度でこの検討課題は終了となった。初めてディスカッションを取り入れることにより、理解が深まった。県立4病院連携事業会議により、教育体制や支援に寄与できたと考える。また、新規事業の県内病院連携事業は1施設にて開始し、ニーズがないため、中止となった。さらに1施設連携予定である。

<診療放射線部門>

- 1 事業を実施しなかったため特に成果・効果はない。
- 2 コロナ禍で低調となっていた県内病院の研究等の活動が回復傾向となり備品の貸し出しについてはコロナ以前の実績に戻りつつある。
- 3 今年度は備品データベースの環境整備を行った。引き続きデータベースの構築を行っていく。

4 事業の課題及び改善の方向性

<看護部門>

- 1 県立4病院の人材育成の検討課題として、次年度から『人に教える』看護の人材育成の方法を学ぶ(案)」の予定である。
- 2 県内病院連携事業は、病院のニーズを把握すると共に、活動を周知していく。

<診療放射線部門>

- 1 群馬県職員で構成される診療放射線技師会が次年度から活動を再開する見込みとなっているので、令和6年度からは県立病院への知の還元事業に関する要望が寄せられる可能性があるので積極的にニーズの把握に努めたい。
- 2 引き続き要望が寄せられた備品について貸し出しを行っていく。
- 3 貸し出し備品の利用を高めるため引き続きデータベースの試作を進め利用しやすい環境整備を進めていく。

看護職研究支援事業

担当者／看護学部 ◎上山准教授、橋本准教授、浅見講師、戸谷講師、福島講師、丸澤講師、久保田助教

1 事業目的・内容

県内の病院、行政機関、訪問看護ステーション、福祉施設、事業所等に所属する看護職者を対象に、看護研究セミナーと看護研究個別支援の連動を図り実施する。

1. 看護研究セミナーの開催（3回）
2. 看護研究個別支援希望者への支援（新規：9か月間、継続：1年）
3. 過年度の看護研究個別支援成果発表会開催

2 実施結果

1. 看護研究セミナー（ハイブリッド開催）：受講者47名

- 1) オンデマンド配信（令和5年5月9日～6月5日）
 - 第1回「看護研究計画書の作成」
 - 第2回「看護研究における倫理と手続き」
 - 第3回「看護研究のための文献検索と文献検討」
- 2) 対面演習の開催（令和5年6月3日）：受講者：10名
 - 第3回「看護研究のための文献検索と文献検討」のみ実施

2. 看護研究個別支援成果報告会：：受講者47名

- ・オンデマンド配信（令和5年5月9日～6月5日）

3. 看護研究個別支援の実施

- 1) 新規支援：5グループ
 - ・新規支援期間 令和5年7月～令和6年3月
- 2) 継続支援：4グループ
 - ・継続支援期間：令和5年4月～令和6年3月

3 事業成果・効果

看護研究セミナー及び個別支援成果報告会では、6圏域、病院や保健所など14施設の看護職が受講し、全ての受講生がセミナーの内容を活用できそうと回答した。また、今年度から再開した第3回セミナーの対面開催では、演習で体験したことにより文献検索に関する理解を促し、高い満足度を得られた。

看護研究個別支援は、Zoom等を活用して研究課題の明確化から複数回の支援を行い、新規では院内発表を、継続では2グループが学会発表を予定している。

4 事業の課題及び改善の方向性

1. 看護研究個別支援成果報告会は、報告者と受講生などが交流できるように対面開催の方向で進める。
2. 個別支援の成果を明確に把握できるように検討する。

放射線教育・研修事業（放射線治療講習会）

担当者／診療放射線学部 ◎佐々木教授、高田准教授、大野准教授、津野助教

1 事業目的・内容

- 1 がんプロフェッショナル（医学物理士、放射線治療専門技師）養成のための医学物理セミナーを開催
- 2 群馬放射線治療技術研究会を後援
- 3 群馬県内の放射線治療セミナーの企画と講師派遣

2 実施結果

第1回医学物理学講演会

日時：令和6年2月24日 ZoomWebinarによるWeb開催 参加者270名

3 事業成果・効果

近年放射線治療分野で注目されている体表面画像誘導放射線治療（Surface Guided Radiation Therapy：SGRT）の基礎と臨床応用について、医学物理士および放射線治療専門放射線技師に講演していただいた。

放射線治療技術の進歩は加速しており、画像誘導放射線治療（IGRT）は必須となっているが、その中でもX線を用いないSGRTは近年急速に普及しつつあり多くの方が興味あるテーマであった。このような幅広い知識を一度の講演で深めることができる機会は少ないため、地域の技術者、医学物理士および本学の学生にも貴重な機会となった。非常に有用で実務に直接役立つ内容が多く、知識の再構築に有用と好評であった。今回の講演内容を臨床に応用していない施設からとても有用との高い評価が得られた。

放射線治療技術の向上のための講演会は、群馬県で治療を受ける患者の利益につながる有意義な活動である。

4 事業の課題及び改善の方向性

放射線治療に携わる医療従事者の育成については、県がん対策推進条例においても明記されており、専門的な医療従事者の質的向上を図る必要がある。今後も、がんプロフェッショナル養成事業として、本学独自のセミナーの開催等を通じ、放射線技術系の基礎教育や継続教育に取り組んでいく。

放射線教育・研修事業(診療放射線技師CT・MRI研究会事業)

担当者／診療放射線学部 ◎林教授、川村准教授、丸山講師

1 事業目的・内容

- 1 県内の診療放射線技師の臨床研究支援事業として、臨床現場における画像診断検査の向上・発展を目的とする研究の推進と発信に必要な方法を討論する研究会を実施する。
- 2 画像診断検査の向上を目的とした研究会の広報やオンライン研究会を共催または後援として支援するとともに、必要に応じて講師を派遣する。

2 実施結果

1 主催事業として3回の研究会をオンラインで開催した。

- ・令和5年度第1回健科大CTMRI研究会（ゼミ）
：2023年4月27日（木）19時30分～21時30分 参加者5名
- ・令和5年度第2回健科大CTMRI研究会（ゼミ）
：2023年7月20日（木）19時30分～21時30分 参加者5名
- ・令和5年度第3回健科大CTMRI研究会（ゼミ）
：2023年10月30日（月）19時30分～21時30分 参加者5名

2 共催事業として以下の研究会の支援及び開催を行った。

- ・令和5年度群馬 Gyro ユーザーズミーティング世話人会
：2023年4月6日（木）19時00分～20時30分 参加者10名
- ・令和5年度群馬 Gyro ユーザーズミーティング世話人会
：2023年7月27日（木）19時00分～20時30分 参加者10名
- ・令和5年度第16回群馬 Gyro ユーザーズミーティング（対面：多目的ホール）
：2023年11月28日（火）19時30分～21時30分 参加者27名

3 事業成果・効果

主催事業の研究成果を以下の通り学術発表できた。

【東京・関東支部合同研究発表大会2023での発表】

- ・演題番号100：胸部X線画像における顕著性マップを用いた画質評価手法の検証（最優秀演題賞）
- ・演題番号102：多施設におけるX線CT画像のノイズ特性解析による画質比較
- ・演題番号103：テクスチャ特徴量と教師なしクラスタリングを用いたX線CT画像の画質分類

【ECR2024でのEPOS発表】

- ・Poster No.C-10531：Quantification and analysis of image quality variations in head CT examinations across different facilities and systems

4 事業の課題及び改善の方向性

主催事業は昨年度と比べて活動回数や成果が上がり、今後も同様の臨床研究支援を拡張する予定である。

研究会事業については2020年以降初めての対面限定の開催に戻したが、参加者が以前よりは減少していたことと、オンライン開催と比較して減少していたことから共催事業として研究会の開催方法を検討する予定である。

放射線教育・研修事業（診療放射線技師継続教育等事業）

担当者／診療放射線学部 ◎渡部准教授、林教授、川村准教授、津野助教

1 事業目的・内容

- 1 本学MRI装置などを用いた講習会の開催
- 2 群馬MR研究会への支援
- 3 MRIに関する他施設との共同研究

2 実施結果

1 MRI技術講習会の開催

10月14日にウェビナーでの講習会を開催した。本会は、MRIに携わる群馬県内外の診療放射線技師を主対象とし「MRI専門技術者」資格の取得を視野に入れた講習会である。

- ① 「認定試験問題から学ぶMRI臨床技術」

群馬大学医学部附属病院放射線部 氏田浩一先生

- ② 「RF送信/受信コイル・RF送受信系について」

本学診療放射線学部 高橋哲彦先生

- ③ 「MRIデータ収集と再構成の設計と実装」

富士フイルム株式会社メディカルシステム開発センター 白猪亨先生

2 群馬MR研究会への支援

第254回6月22日参加者74名、第255回11月26日参加者59名の開催を支援した。

3 CT・MRIに関する他施設との共同研究の実施

桐生厚生病院、伊勢崎市民病院、群馬大学医学部附属病院、美原記念病院のそれぞれの放射線技師と本学の教員でMRIによる定量化に関する共同研究を行った。

3 事業成果・効果

今年度のMRI講習会は昨年と同様Zoomを用いたウェビナー形式で開催した。対象はこれからMRIを専門的に扱う若手技師を主とし、内容は「基礎から応用まで幅広く学べる」ものとした。参加者数は県内外から104名（延べ）、内容・運営ともに好評であった。群馬MR研究会では円滑な運営になるよう支援を行った。

4 事業の課題及び改善の方向性

MRI講習会は、県内の診療放射線技師のスキルアップの施策として継続していく。群馬MR研究会への支援は、引き続き運営などを支援していく。

放射線教育・研修事業(群馬県診療放射線技師会講習支援事業)

担当者／診療放射線学部 ◎五十嵐准教授、米持講師、丸山講師

1 事業目的・内容

- 1 令和3年厚生労働省告示第273号研修への講師等派遣及び会場提供等
- 2 群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習への講師派遣及び会場提供等
- 3 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーへの講師派遣及び会場提供等
- 4 日本診療放射線技師会主催「基礎技術講習（MRI検査）」への講師派遣及び会場提供等
- 5 群馬県診療放射線技師会企画推進部・放射線管理部の講習会開催支援

2 実施結果

- 1 令和3年厚生労働省告示第273号研修への講師派遣及び会場提供等：6回開催し、講師派遣24名（延べ）、受講者272名
- 2 群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習への講師派遣及び会場提供等：3回開催し、講師派遣1名、受講者76名
- 3 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナーへの講師派遣及び会場提供等：1回開催し、講師派遣1名、受講者12名
- 4 日本診療放射線技師会主催「基礎技術講習（MRI検査）」への会場提供等：1回開催し、受講者44名
- 5 群馬県診療放射線技師会企画推進部の講習会への講師派遣及び会場提供等：4回開催し、講師派遣4名（延べ）、受講者135名

3 事業成果・効果

2024年4月からはじまる医師の働き方改革に備え、多くの研修修了者を送り出せた。また、関連講習会を開催することで、県内診療放射線技師の技術向上を支援できた。

4 事業の課題及び改善の方向性

令和3年厚生労働省告示第273号研修の開催は残り2年となるが、引き続き関係団体等と調整をしてスムーズな運営をしていく。

放射線教育・研修事業（国際化研究支援事業）

担当者／診療放射線学部 ◎小倉（敏）教授、渡部准教授、佐藤（充）助教

1 事業目的・内容

県内診療放射線技師の研究支援事業として、国際的視野を身につけ、国際学会発表ができるよう基礎知識を学べるよう講演、発表会等を実施、国際学会の紹介、国際学会参加報告も行う。

2 実施結果

1. 第1回セミナーでは、海外で開催された国際学会での発表を経験した大学院生と診療放射線学部4年生が講師役を務め、国際学会に向けた準備や発表内容、国際学会の雰囲気などを紹介した。当日は学生や教職員など約80名が参加し、参加者からは研究や学会への興味が湧いた、参加支援金制度を利用してぜひ自分も発表してみたい、などの感想が寄せられた。
2. 第2回セミナーでは、「世界を取り巻くAI―実務で使えるAIを用いて世界から取り残されないように―」をテーマに、診療放射線学部の佐藤充講師が、研究活動や事務業務で利用できるAIの基礎知識から実務への応用まで、具体例を紹介しながら講演した。参加者からは、AIの進化に驚いた、AIの活用や特徴を楽しく知ることができた、まずはAIに触れる機会を作り有効に正しく使えるようにしたい、などの感想が聞かれた。
3. 第3回セミナーでは、「世界を取り巻くAI―実務で使えるAIを用いて世界から取り残されないように―」をテーマに、「ChatGPT,DALL-E3を用いたAIハンズオンセミナー」を開催した。
実際にAIを体験して頂きこれから、どのようにつきあっていくべきかを考えて頂いた。

3 事業成果・効果

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大のため、開催の機会がなかなか得られなかったが、今年度は、対面で開催できて良かった。

4 事業の課題及び改善の方向性

今後も、精力的に継続を考えている。

放射線教育・研修事業（診療放射線技師核医学研究会事業）

担当者／診療放射線学部 ◎大崎教授、丸山講師、佐藤（充）助教

1 事業目的・内容

県内診療放射線技師を対象に、核医学専門技師の取得を視野に入れた核医学検査に関わる継続的な講習会の機会を提供する。また、技術支援を通して核医学の臨床研究や多施設研究の推進を行う。

- 1 SPECT及びPET装置の最新情報の提供
- 2 核医学及びPETに関わる検査法・技術に関する講習会の開催
- 3 核医学治療に関する講習会の開催
- 4 核医学及びPETの技術的支援による研究推進

2 実施結果

令和5年度研究会を群馬核医学研究会テクニカル分科会と共同で1月22日に行った。講演内容は以下の通りである。参加者40名。

- (1)「ビザミル静注の紹介」日本メジフィジックス株式会社
- (2)「放射線安全管理体制に関するアンケート報告」美原記念病院 前村 啓介
- (3)「本県におけるアミロイド脳PET撮像のための多施設ファントム試験」

群馬県立県民健康科学大学 大崎 洋充

アミロイドPETが2024年1月に保険適用となり、ファントム実験を実施したQAが各PET施設に課されることとなった。そこで、本事業を活用して本学の技術協力を実施し、多施設研究の推進を図った。本学のファントム実験は5施設を実施した。

3 事業成果・効果

アミロイドPETの保険適用は本県における社会的なニーズが高く、当事業を通して各施設に適切な情報提供が可能となった。また、ファントム実験は難儀であり、本学教員の撮像認証制度委員としての経験を活用して、円滑な保険適用の検査実施が可能となった。

4 事業の課題及び改善の方向性

講習会のWebサイトの確立、メーリングリストの作成等を通して参加者への情報提供をスムーズに行うことが必要と考えている。

放射線測定協力事業

担当者／診療放射線学部 ◎杉野准教授、原教授

1 事業目的・内容

- 1 生活環境の放射線とその測定に対する助言を行う（随時）。
- 2 測定器の簡易校正の依頼に対応する（随時）。
- 3 自治体が定期的に実施する空間線量率測定の助言および指導を行うとともに測定結果に基づいて線量評価報告書を作成する。
測定回数は、前橋市 3回、みどり市 1回、川場村 1回を予定している。
- 4 放射線（能）に関する講習会への講師派遣依頼に対応する。

2 実施結果

下記の自治体から提出された空間線量率測定結果について評価し、報告書を作成した。

【前橋市】

- ・測定地点：バイオマス発電施設周辺 4地点、公園および市役所等 4地点、赤城山 6地点
- ・測定回数：バイオマス発電施設周辺、公園および支所等 2回、赤城山 1回
- ・公開場所：非公開

【みどり市】

- ・測定地点：桐原グラウンドおよびテント村 2地点
- ・測定回数：1回
- ・公開場所：みどり市HP

【川場村】

- ・測定地点：川場村のキャンプ場、ハイキングコース等 15地点
- ・測定回数：1回
- ・公開場所：世田谷区教育委員会

3 事業成果・効果

- ・**前橋市**：バイオマス発電所稼働から6年目の測定となった。稼働後の空間線量率を継続的に測定し、バックグラウンドデータを蓄積している。約10年ぶりに赤城山の空間線量率について評価したところ、2011年事故当初と比較して約65～80%の減衰を確認した。
- ・**みどり市**：2地点の空間線量率データについてコメントした。コメントはみどり市HPで公開されている。
- ・**川場村**：キャンプ場、ハイキングコース等15地点の空間線量率データから、世田谷区小学5年生の移動教室（2泊3日）における外部被ばく線量を試算した。結果と報告書については、世田谷区教育委員会を通して保護者に説明がなされている。

4 事業の課題及び改善の方向性

東京電力福島第一原子力発電所の事故を契機に、原発由来の放射性物質に対する県民の不安解消の一助となるよう空間線量率測定を計画し遂行してきた。事故から約13年が経つが、自治体から要請がある限り、環境中の放射線および放射能、空間線量率等に関わる質問や依頼に対応していく。

教育普及事業

担当者／看護学部 石川教授、鵜生川准教授、小西講師、中川助教、塩澤助教
診療放射線学部 ◎寺下准教授、大崎教授、多鹿准教授、西村助手

1 事業目的・内容

県民を対象とした公開講座や講演会等の事業を通して、地域の方々に本学の教育と研究の成果を還元する。

1 公開講座

県民を対象とした講座を年度内に、2回（可能なら3回）実施する。新型コロナウイルス感染症蔓延期間においては、方法としては動画を講師に作成してもらい、YouTubeでの限定公開を行う予定である。新型コロナウイルス感染症が蔓延していない場合には、対面で行う。

2 出前講座

「出前講座」のメニュー（一覧）をホームページに掲載し、要請に応じて地域団体が主催する集会等へ講師を派遣する。なお新型コロナウイルス感染症蔓延時には、派遣を見合わせる。

3 公開授業

「群馬県民の生活と文化」「環境と健康概論」「人間の発達と健康概論」の3科目について実施することとしているが、新型コロナウイルス感染症の影響についてはその時点で検討する。

2 実施結果

1 公開講座

- ・第1回公開講座「家族のレジリエンス＝しなやかに立ち直る力を育てて親子・夫婦・家族関係を強める」

日時：令和5年8月19日（土）13:00～15:00

会場：本学多目的ホール

講師：石川県立看護大学 小児看護学分野 教授 戸部浩美

参加者数：35名

- ・第2回公開講座「『がんとともに生きる』を支える～がん看護専門看護師の役割」

日時：令和6年2月17日（土）13:00～14:30

会場：本学多目的ホール

講師：本学 看護学部 准教授 清水裕子

参加者数：30名

2 出前講座

「のべ出前講座数」41回、「のべ受講者数」1,761名

3 公開授業

「群馬県民の生活と文化」 延べ受講者数：23名

「環境と健康概論」 延べ受講者数：43名

「人間の発達と健康概論」 延べ受講者数：13名

3 事業成果・効果

公開講座では、県立大学に求められる水準で、かつ県民のニーズに沿った内容の企画を立案している。本年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、対面での開催に主眼を置き、2回開催することができた。参加者数は蔓延以前の半分程度であった。公開講座も同様に以前に比べ少なかった。県民の外出に対する意識が未だ戻っていないためと考えられ、今後に期待したい。

本年度は少ない参加者数ではあったが、実施内容は充実しており、広く県民に本学の教育や研究成果を還元するという目的を達成できたと考えられる。

4 事業の課題及び改善の方向性

これまでどおり、公開講座では県民のニーズに沿った内容を企画し、出前講座に新たなメニューも加えながら活動を継続していく。今後とも地域貢献活動を積極的に実施すると共に、大学の現状や卒業生の活躍なども含め、他委員会と共により広範な広報活動に力を入れる必要がある。

地域連携推進事業

担当者／看護学部 ◎狩野教授、高井教授、大川准教授、大脇准教授、樋口講師、生方講師、島田講師、鈴木(恵)講師、高橋(美)講師、垣上講師、久保講師、富永講師、鈴木(峰)助教、福田助教
診療放射線学部 原教授、長島准教授、川村准教授、津野助教、西村助手

1 事業目的・内容

Newsletter、地域貢献活動報告書、リーフレットを発行し、大学や本センターの活動を広く県民に周知する。
また、学生ボランティア活動や他大学との連携等により、県民の保健医療福祉に寄与する地域に根ざした取り組みを行う。

<情報発信事業>

- ・連携センターNewsletterの作成と発行（3回/年）県民の保健医療福祉の向上に寄与する情報提供を含む
- ・2022年度地域貢献活動報告書を編集し、10月初旬に発行する
- ・2023-24年版地域連携センターリーフレットの編集と発行

<ボランティア活動>

- ・ボランティア活動の具体的な内容や魅力について、学生に向けたPR活動を行う
- ・コロナ禍に伴い継承が困難となっている活動ノウハウの補填と継承に向けた支援
- ・ボランティア活動を行う学内団体の支援
- ・ボランティア募集情報の収集・選別と学生への周知

<県内他大学との協力・連携事業>

- ・「めぶく。プラットホーム前橋」への参加
- ・群馬大学主催の「ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク」への参加

2 実施結果

- 1 Newsletterを年3回、7月、11月、3月に発行し、連携センターの新規事業や公開講座、学生らによる地域ボランティア活動、学生や教員らの学会賞受賞などについて報告した。2022年度地域貢献活動報告書では具体的な活動状況を報告した。
- 2 ボランティア活動については、ポストコロナ社会への移行により、地域のイベントや環境美化活動などが従来に近い形で開催されるようになり、前橋市内を中心に学生や教職員の活躍が各所でみられた。
- 3 「めぶく。プラットホーム前橋」については、市内5大学による中高生向け大学講座に両学部から各1題の講座を配信するとともに、担当職員が定例会議に参加するなど、運営に貢献することができた。
- 4 「ぐんまダイバーシティ推進地域ネットワーク」については、担当教員の参加に加え、本学からは6名が女性研究者シーズ集に主要研究テーマや地域貢献関連分野の情報を登録し、共同研究や地域貢献の機会確保を行った。

3 事業成果・効果

Newsletterや活動報告書等の発行により、地域連携センター事業や、学生・教職員の活躍をPRすることができた。

4 事業の課題及び改善の方向性

Newsletterについては、他業務が集中する3月号の準備が遅延しやすいため、早めに着手する必要がある。

健康福祉政策事業（健康福祉部、生活こども部等）

担当者／看護学部 ◎廣瀬教授

診療放射線学部 米持講師、佐藤（充）助教

1 事業目的・内容

健康福祉部や生活こども部と情報交換等の施策を行う。

1 認知症サポーター養成支援

県内の関係施設等からの講師依頼への対応

2 県民の健康福祉施策の実現に向けた事業の協働展開

(1) 子育て講座プログラム政策・普及への協力

生活こども部児童福祉・青少年課と連携し、「ぐんまの親子 仲良しこよし子育て講座 ほめトレ乳児編 トレーナー・マニュアル（案）」の内容や活用方法を検討継続

(2) 健康長寿社会づくり推進課主催の「若い世代の食育推進協議会」への参加予定

(3) 県内大学の教員と学生による協議会への参加を検討

3 感染症・がん疾病対策課と連携し、保健福祉事務所等における胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定

4 展開内容を協議の上検討

2 実施結果

1 認知症サポーター養成支援

(1) 認知症サポーター・ステップアップ研修教材の紹介動画

再生回数：約900回（H29年度より）

(2) 認知症ステップアップ研修

榛東村における3回シリーズのステップアップ研修を行った。

担当者：狩野教授

2 県民の健康福祉施策の実現に向けた事業の協働展開

(1) 子育て講座プログラム政策・普及への協力

・「群馬県子育て講座乳児編のプログラム」において、「ほめトレ乳児期編」トレーナー・マニュアルを作成した。

・試行的にトレーナー養成講座が10月31日に開催され、協力・支援した。

担当者：行田教授

(2) 健康長寿社会づくり推進課主催「若い世代の食育推進協議会」への参加

・会議（3月18日）にボランティア学生5名と参加し、群馬県の食関連施策と若い世代食育推進事業の説明、来年度の実践活動の検討・意見交換を行った。

担当者：塩ノ谷講師

3 「群馬県保健福祉事務所等における胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定」

- ・県の担当者と定期的な打ち合わせを実施した。
 - ・医療被ばくの線量測定における線量計の更新について意見交換を行った。
- 担当者：米持講師、佐藤（充）助教

3 事業成果・効果

「認知症サポーター養成支援」

大学HPで認知症サポーター・ステップアップ研修教材を公開し、市町村では教材の内容の更新を行いながら利用されている。また、連携協定を締結している榛東村ではステップアップ研修の受講者が地域で活動し普及に繋がっている。

「群馬県子育て講座 乳児編のプログラム」

ほめトレ乳児期編トレーナー・マニュアルが完成し、今後の普及活動により県内の子育て支援に繋がることが期待される。

「若い世代の食育推進協議会」参加

実践活動の検討や意見交換により、若い世代の食育推進への施策の具体化が期待される。

「保健福祉事務所等における胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定」

線量計の更新における意見交換により、経年劣化に伴う測定困難な状況を回避し、精度管理の継続が可能となる。

4 事業の課題及び改善の方向性

「認知症サポーター養成支援」

認知症サポーター活動促進事業「チームオレンジ」の推進に向けて教材を活用した研修等の検討が必要である。

「群馬県子育て講座 乳児編のプログラム」

子育てプログラム「ほめて育てるコミュニケーション・トレーニング」の今後の普及に向けた検討を継続する。

「胸部X線撮影時の医療被ばく線量測定」

線量計の経年劣化に伴い線量計を更新する予定である。更新・使用に関して相談・支援を継続する。

「若い世代の食育推進協議会」への参加については、次年度は関係機関と事業の仕切り直しを図るため今年度をもって終了とする。

健康寿命延伸プロジェクト

担当者／看護学部 ◎大澤（真）教授、宮崎教授、狩野教授、塩ノ谷講師、鈴木（美）講師、坪井講師、佐藤講師、大澤（康）講師、高橋（佳）助教
診療放射線学部 瀬川教授、佐藤（哲）教授、長島准教授、大野准教授

1 事業目的・内容

平成28年度政策プレゼン「健康寿命延伸プロジェクトⅡーぐんまエクステンションプラン」に基づき、群馬県民の健康寿命延伸を目指した事業に取り組む。

具体的には、群馬県健康福祉部及び県内市町村との協働により、地域の実態把握・課題分析・健康課題の明確化、調査研究、実践プログラムの企画及び実施、人材育成等について、科学的根拠に基づいた健康づくり対策を展開する。

- 1) 群馬県健康福祉部長寿社会づくり推進課との共催による「元気に動こう・歩こうプロジェクト」の推進
 - (1) 「ぐんま元気の5カ条は第1条の実践から」における「実践フォーラム」等イベントの開催を企画、実施する。
- 2) 群馬県内市町村との共催による「健康寿命延伸シンポジウム」の開催
 - (1) 県内のシンポジウム未実施市町村との共催によりシンポジウムを企画開催し、「ぐんま元気5カ条」の普及啓発を行う。
- 3) 小規模町村支援事業のモデル地区として選定した榛東村の健康づくり対策に対する協力
 - (1) 令和6年度からの市町村における新規事業「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」について、引き続き村と協議し事業実施に協力する。
 - (2) 身体活動量計を活用した研究を推進する。
 - (3) 慢性腎臓病発症予防・重症化予防リーフレットを村と共同で作成し、住民に配布する。
 - (4) 保健福祉計画策定等に委員として参画し、有識者の立場から発言する。
 - (5) 認知症サポーター研修の講師として協力する。
 - (6) その他 村の要望を踏まえ検討する。
- 4) 館林市健康寿命延伸プラットフォーム事業への協力
 - (1) 市のプラットフォーム会議及び専門委員会において、専門的な立場から同市の健康寿命延伸に関する提言を行う。
- 5) 群馬県立ゆうあいピック記念温水プールにおける健康増進効果検証事業に対する取り組み
 - (1) 施設が実施している健康教室利用者を対象として、収集したデータ分析をすすめ、心身への影響について、心理的指標及び生理的指標を用いて検証し、介入研究を実施する。
- 6) 「ぐんま元気エクステンションセミナー」の開催
 - (1) 出前講座登録時に「健康寿命延伸プログラム」と明示した16講座を「ぐんま元気エクステンションセミナー」として開催する。

2 実施結果

- 1) 2) について、県からの協力依頼はなく令和5年度の実施はなかった。
- 3) については以下のとおりである。
 - (1) 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」については、村の計画策定に協力し、大学として村住民の健診や介護保険に関するデータ分析と健康課題の抽出に協力した。村と協議し健康課題を踏まえた計画を策定した。令和6年度より計画を実施予定である。
 - (2) の身体活動量計を活用した研究は、活動量計の使用を希望する住民が少なくデータ収集が十分でなかったため、今後の課題となった。
 - (3) の慢性腎臓病発症予防・重症化予防リーフレットは、村において継続して活用した。
 - (4) について、事業メンバーが村の介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画策定懇談会に委員として参画した。
 - (5) について、本学教員が講師として認知症サポーターステップアップ研修を村内住民に対して実施した（講師：狩野教授、8月3日・11日・25日：参加者25名）。
 - (6) その他新規の活動の実施はなかった。
- 4) について活動の実績はなかった。コロナ禍による中断以降実績がないため令和6年度から一旦本事業は中止とする。
- 5) について令和5年度の実施はなかったが、コロナ禍を経て令和6年度から活動再開の予定である。
- 6) について、本年度の実施は25件であった。

3 事業成果・効果

- 3) (1) の小規模町村支援事業（榛東村）では村の新規事業の計画において大学のデータ分析に協力し、健康課題に対応した計画策定を支援できた。また（5）の認知症サポーター研修において大学教員としての知識・技術を生かして講師として協力し、修了者が認知症カフェの運営を担う等、小規模町村としてマンパワーが不足している専門職への支援及び村民に対する健康寿命の延伸及び保健活動の質の向上に貢献した。また6）においても県民に対する健康寿命の延伸に貢献できた。

4 事業の課題及び改善の方向性

新型コロナウイルス拡大後、事業が中断されたままのものがある一方、徐々に活動が再開されたものもある。中断が継続している事業については活動の再開を検討し、再開した事業については、さらに県民の健康寿命延伸に向けた取組みを活発化する。

ピックアップ

【認知症サポーターステップアップ研修】

「地域で活躍する認知症サポーター」

看護学部 教授 狩野 太郎

本学では、小規模町村支援事業のモデル地区として選定した榛東村に対する取り組みの一環として、2018年度から認知症サポーター向けのステップアップ研修に講師を派遣しています。この研修は認知症サポーター養成講座を受講した住民の皆さんを対象に3日間にわたって講義やグループディスカッションを行うもので、2023年度までに約50名の方に受講いただきました。おもな講義は、2017年に認知症サポーターステップアップ講座教材開発事業で制作したプレゼンテーション教材を用いて狩野が担当し、地域包括支援センターの保健師さんや社会福祉協議会職員の方には、榛東村の高齢化の状況や認知症を含む高齢者への支援サービスや新しい取り組みなどについて説明をいただいています。

受講者は60-70代の女性を中心ですが、40代や90代の方や男性の方にもご参加頂いております。皆さんの参加動機は、何か社会に役立つことをしたい、家族の介護や介護の仕事をした経験を社会のために役立てたい、自身や配偶者にこれから起こる問題として知識や理解を深めたいなど様々です。

修了者の皆さんは、現在村内2カ所で開催されている認知症カフェ「和の場」の中心的な運営スタッフやボランティアとして活躍中で、地元中学校の認知症サポーター養成講座に登壇したり、和の場で中学生に合格祈願のお守りを作ったりと交流を深めています。認知症について興味を持ち、地域のために役に立ちたいとの意欲を持った方がこの講座を受講し、その後地域で活発に活動する様子は、認知症サポーターステップアップ研修が目指す理想の姿であり、他の市町村にとっても良いお手本となりそうです。



認知症サポーターステップアップ研修教材



研修修了者の皆さん



ごあいさつ

ポストコロナ社会に向けた地域貢献活動の推進と発展に向けて

地域連携センター長 廣瀬規代美

令和5年4月より地域連携センター長に就任致しました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。当センターは、開設後12年目を迎えました。

県立医療系大学として本学の知的財産・研究成果等を活用し、関係機関・関係者の方々との協働により、県民の健康維持・増進や医療・福祉環境の向上を目指し事業の成果を積み上げて参りました。

今年度は11事業を予定しております。新規事業では、厚生労働省認可・群馬県委託事業である「看護学実習指導者養成講習会」を開催致します。また「看護師特定行為研修課程」では区分別科目に血糖コントロールに係る薬剤投与関連を追加致しました。

今後も、県民・地域社会のニーズに応じた事業をコロナ禍で加速したICTの活用により利便性を図りながら事業の推進・展開に努めて参ります。引き続きご理解とご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



日本人初 Gray Medal受賞 本学 元学長 土井邦雄 名誉教授

本学名誉教授で元学長の土井邦雄先生が、長年にわたる功績を認められ、日本人で初めてGray Medalを受賞されました。この賞は、放射線吸収線量の単位としても知られるLouis Harold Gray博士の名を冠し、放射線・放射性物質の量と単位及び測定に関する国際的な統一と規格化を図るための国際組織であるICRU（国際放射線単位測定委員会）により1967年に設立された大変権威ある賞です。

土井先生には本学にて受賞記念特別講演をいただくとともに、ご夫妻から本学学生の教育・研究活動の充実のために役立てて欲しいと寄附のお申し入れをいただき、4月21日に寄附金贈呈式を行いました。



日本一！2022年度 国家試験合格率100%

今年2月に実施された第109回保健師国家試験、第112回看護師国家試験、第75回診療放射線技師国家試験について3月23日・24日に合格発表があり、本学からの受験者は見事全員合格しました。全国の新卒者平均合格率は、保健師国家試験で96.8%、看護師国家試験で95.5%、診療放射線技師国家試験で94.1%でした。両学部とも日本一の合格率です！



報 告

【学部生・大学院生の学会賞受賞】

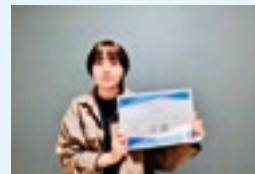
○日本放射線技術学会関東支部 優秀学生賞 受賞

今年3月に診療放射線学部を卒業した吉田ほのかさんの優れた学業成績と第69回関東支部研究発表大会におけるPET検査の定量評価に関する研究発表に対し、日本放射線技術学会関東支部より優秀学生賞が贈呈されました。



○国際放射線診断治療学会『Best Presentation Award』受賞

診療放射線学研究科博士前期課程1年の梅室愛華さんが、今年3月にスペインで開催された国際放射線診断治療学会(ICRR)で発表を行い、Best Presentation Awardを受賞しました。



○日本放射線技術学会 2022年度技術新人賞 受賞

診療放射線学研究科博士後期課程3年の丸山朋子さんが、今年4月に開催された第79回日本放射線技術学会総会学術大会において、技術新人賞（撮影分野）を受賞しました。



【学生による地域ボランティア活動】

去る5月14日(日)、前橋市桂萱地区で開催された「のびゆくこどものつどい ふれあいの広場」に、本学ボランティアサークルから、代表の梅澤凜さんほか両学部から学生29名が参加し、バルーンアートの実演とプレゼントを行いました。来場した子どもたちにも大変喜ばれ、学生にとってもとても充実した、笑顔あふれる楽しいひと時となりました。

公開講座

【テーマ】家族のレジリエンス＝しなやかに立ち直る力を育てて親子・夫婦・家族関係を強める

【日時】令和5年8月19日(土) 2時間程度

【会場】群馬県立県民健康科学大学 大講義室

【講師】石川県立看護大学 小児看護学講座 教授 戸部 浩美 先生

【申込方法】詳細は本学ホームページをご覧ください。



お知らせ

OPEN CAMPUS 2023

事前予約制

8月10日(木)、11日(金・祝日)にオープンキャンパスを開催します！

昨年同様、WEBと対面の両方で実施予定です。動画の配信や本学在学生によるキャンパスツアー等を行う予定です。詳細は決まり次第、随時ホームページでお知らせします。

発行：群馬県立県民健康科学大学地域連携センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1
TEL:027-235-1211 FAX:027-235-2501 URL: <https://www.gchs.ac.jp/>



群馬県立県民健康科学大学

Vol.11/No.2 2023.11

地域連携センター Newsletter

ボランティア活動報告

【桃ノ木川を愛する会】環境美化活動 令和5年5月31日(水) 代表 城田果穂



写真：大宝橋下の花壇

桃ノ木川を愛する会では、大学の前を流れる桃ノ木川の美化活動を年に3回行っています。5月の活動では、桃ノ木川周辺の花壇に花植えを行いました。また、新たな活動としてサークルメンバーとの関わりを深めるべく交流会を開催しました。普段、交わることのない他学部・他学年と話すことができる良い機会になりました。地域の方や大学職員の皆さんにも協力していただき、積極的に活動しています。



【第49回ホリデーインまえばし】令和5年8月20日(日)
前橋敷島公園

夏休み最後の恒例行事、ホリデーインまえばし（主催：ホリデーインまえばし実行委員会、共催：前橋市、同 教育委員会）に本学ボランティアサークルから学生10名が参加し、オリジナルカンバッチコーナーを出展しました。当日は厳しい残暑の中、400名の親子連れが本学のテントを訪れ、素敵なカンバッチを作りました。本学教員が親子で参加してくれたほか、本学同窓生も子どもさんを連れて参加してくれました。開会当初は緊張した面持ちの学生たちも、子どもたちとの会話を重ねるうちにすっかり緊張がほぐれ、みな素敵な笑顔で交流を深めることができました。

R5年度新規事業の報告

【看護学実習指導者養成講習会】

看護学部 講師 高橋裕子

2023年度より、看護基礎教育における実習の意義と実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導を行うために必要な知識・技術を教授することを目的として、大学の企画・運営により看護学実習指導者養成講習会が開催されることになりました（厚生労働省認可、群馬県委託事業）。今年は、7月10日から9月14日の約2カ月間、10単位180時間の授業が提供されました。受講生は、臨床実習で実際の指導場面を観察することを通して、学びを深めていました。9月14日の修了式では、一般33名、特定分野5名の計38名が修了証書を手にしました。修了生の皆さんが、本講習会の学修成果を活用し、県内の病院等の実習施設で、実習指導者としての役割を果たし活躍することが期待されます。



報告

オープンキャンパスを開催しました

令和5年8月10日(木)、11日(金・祝)

8月10日・11日の2日間、対面形式でのオープンキャンパスを開催し、県内外の高校生と保護者1433名にご参加頂きました。

当日は両学部学生有志の案内によるキャンパスツアーを行い、図書館や教室、CTやMRI室、各実習室や演習室の見学、模擬演習への参加をして頂きました。

参加者からの感想では「他大学ではできないような体験ができた」「とても丁寧に説明してもらった」「CTやMRIなど普段知ることが出来ないことを詳しく教えてくれた」など、好評を頂きました。



第1回 公開講座を開催しました 令和5年8月19日(土)

「家族のレジリエンス

＝ しなやかに立ち直る力を育てて親子・夫婦・家族関係を強める」

講師：石川県立看護大学 小児看護学分野 教授 戸部 浩美 先生



講師に戸部浩美先生をお招きし、レジリエンスとは何か？レジリエンスを高めるためにはどのようにしたらよいのか？といった視点からペアワークによる参加型ワークショップを開催しました。参加者からの感想では、「わかりやすい説明だった」「自分の気持ちを守る方法を学べてよかった」など満足度が高く好評を頂きました。

【ぐんまシチズンシップ・アカデミー】9月25日(月) 県議会本会議場ほか

看護学部1年生2名が県内他大学の大学生と一緒に、県議会主催のぐんまシチズンシップ・アカデミーに参加しました。当日は、本会議場で一般質問を傍聴した後、県議と意見交換を行い、社会の課題や若者の政治参加などについて考えました。

受賞報告

【日本医用画像工学功績賞の受賞について】



診療放射線学部の大崎洋充教授が、一般社団法人日本医用画像工学会より、医用画像工学分野において「骨シンチグラム解析AIの開発、実用化、および普及」に関する功績が顕著であるとして、日本メジフィジックス株式会社や他大学の研究者と共同で2023年度の功績賞を受賞しました。

【診療放射線学部生の学会賞受賞について】

2023年度関東甲信越診療放射線技師学術大会において、本学診療放射線学部4年生の駒 萌乃さんが「学術奨励賞」を受賞しました。



【看護学研究科博士後期課程修了生の奨励論文賞受賞について】

日本地域看護学会第26回学術集会において、本学看護学研究科博士後期課程修了生である赤堀八重子さんが日本地域看護学会表彰論文の奨励論文賞を授賞されました。



発行：群馬県立県民健康科学大学地域連携センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1
TEL: 027-235-1211 FAX: 027-235-2501 URL: <https://www.gchs.ac.jp/>



群馬県立県民健康科学大学

Vol.11/No.3 2024.3

地域連携センター Newsletter

活動報告（公開講座・セミナー開催）

【第2回 公開講座「がんとともに生きる」を支える

～がん看護専門看護師の役割～を開催しました】



清水准教授と参加者の皆さん
R6年2月17日開催

がん看護専門看護師として、病院での活動経験を持つ看護学部清水裕子准教授が、「がん」を中心とした医療の変化とそれに伴う看護師の役割の変化、専門看護師資格ができた経緯や実践活動について講演しました。

当日は10代から70代の方々に受講いただき、受講者からは、看護師やがん看護専門看護師の仕事・役割の理解が深まった、専門性を持ちたいという看護師が増えていくことはとても心強い、等の感想が聞かれました。

【国際化研究支援セミナー】

○第1回セミナーでは、海外で開催された国際学会での発表を経験した大学院生と診療放射線学部4年生が講師役を務め、国際学会に向けた準備や発表内容、国際学会の雰囲気などを紹介しました。当日は学生や教職員など約80名が参加し、参加者からは研究や学会への興味が湧いた、参加支援金制度を利用してぜひ自分も発表してみたい、などの感想が寄せられました。

○第2回セミナーでは、「世界を取り巻くAIー実務で使えるAIを用いて世界から取り残されないようにー」をテーマに、診療放射線学部の佐藤充講師が、研究活動や事務業務で利用できるAIの基礎知識から実務への応用まで、具体例を紹介しながら講演しました。参加者からは、AIの進化に驚いた、AIの活用や特徴を楽しく知ることができた、まずはAIに触れる機会を作り有効に正しく使えるようにしたい、などの感想が聞かれました。



第1回セミナー講師を務めた学生の皆さん R5年12月15日開催



第2回セミナー R6年1月17日開催

学生の活動報告



開催: R5年10月7日・8日
会場: ALSOKぐんま総合スポーツセンター

【リレーフォーライフジャパンぐんま2023に 本学ボランティアチームが参加しました】

がん征圧や患者・家族の支援を目的としたチャリティーイベントに学生・教職員42名が参加しました。当日は、チャリティーくじやがん予防啓発キッズコーナー等を運営し、大会の成功に貢献しました。会場を照らすルミネリエに書かれたメッセージを通して患者さんやご家族の心に触れ、がん征圧について理解を深める貴重な時間となりました。

【第27回 桃の木祭が賑やかに開催されました】



大ピンゴ大会には地域のお子さんや高齢者の皆さんも多数ご参加いただきました



仮装大会は両学部学生チームが競い合い、大きな歓声が響きました

「一陽来復」をテーマに、R5年10月18日に学園祭が開催されました。当日はご家族連れや地域の方など、500名を超える皆さまにご来場いただき、大ピンゴ大会やバンド演奏、仮装大会などをお楽しみいただきました。久しぶりに学生たちの笑顔が輝く楽しい一日となりました。

○一陽来復：悪いことが続いた後によりよく物事が良い方向に向かうこと

受賞報告

【学部生の受賞】

○日本放射線技術学会「学生発表優秀賞」受賞

診療放射線学部4年生の村松莉江さんが、令和5年12月に開催された日本放射線技術学会 東京・関東支部合同研究発表大会2023において、「学生発表優秀賞」を受賞しました。

○標的アイソトープ治療線量評価研究会「研究奨励賞」受賞

診療放射線学部4年生の石川一磨さんと久保田千裕さん（指導教員 大崎 洋充教授）が、令和5年9月に開催された第4回標的アイソトープ治療線量評価研究会において、共に「研究奨励賞」を受賞しました。

【教員の受賞】

○日本放射線技術学会「優秀演題賞」受賞

診療放射線学部の津野隼人助教が、令和5年12月に開催された日本放射線技術学会 東京・関東支部合同研究発表大会2023において、「優秀演題賞」を受賞しました。発表内容は、高エネルギー電子線の相互校正時の測定回数を最適化するもので、測定精度の確保と作業効率の最適化に貢献できる研究成果です。



村松さんと指導教員の
佐々木浩二教授



津野助教と共同研究者の
佐々木浩二教授

お知らせ

◆2024年度 無料講座・無料セミナーのご案内

〔看護研究セミナー〕

【対象者】 群馬県内の保健医療関係職の方

【開催方法】 オンデマンド配信

【内容】 第1回「看護研究計画書の作成」

※ 第3回は希望者のみ対面で演習実施

第2回「看護研究における倫理と手続き」

〔演習日： 6月1日（土）9：20～11：20〕

第3回「看護研究のための文献検索と文献検討」

〔個別支援成果報告会〕

開催日時： 6月1日（土）11時30分～12時30分（対面開催）

〔出前講座〕

健康に関する内容や医療従事者の業務に役立つ様々な講座を用意しています。

〔公開授業〕

親しみやすい科目で、学生以外の方も受講できます。



詳細は、ホームページ
をご覧ください。

発行：群馬県立県民健康科学大学地域連携センター 〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1
TEL: 027-235-1211 FAX: 027-235-2501 URL: <https://www.gchs.ac.jp/>

Ⅱ

その他の 地域貢献活動

学会活動

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	横山 京子	日本看護教育学会学術集	日本看護教育学会	令和5年度			
教授	横山 京子	日本看護教育学会第32回学術集会 学術集会長	日本看護教育学会	令和5年8月19日	前橋 /WEB	看護職者	約310名
教授	横山 京子	千葉看護学会誌専任査読者	千葉看護学会	令和5年度		日本看護研究学会員	
教授	行田 智子	日本看護研究学会専任査読委員	日本看護研究学会	令和5年度	—	日本助産学会員	
教授	行田 智子	日本助産学会専任査読委員	日本助産学会	令和5年度	—	日本看護研究学会員	
教授	行田 智子	日本看護研究学会評議員	日本看護研究学会	令和5年度	—	日本看護研究学会員	
教授	行田 智子	日本看護研究学会50周年記念行事ワーキンググループ	日本看護研究学会	令和5年度	—	日本看護研究学会員	
教授	廣瀬規代美	日本がん看護学会 代議員	日本がん看護学会	令和5年度	東京	学会員	
教授	廣瀬規代美	日本がん看護学会 査読委員	日本がん看護学会	令和5年度	東京	学会員	
教授	廣瀬規代美	日本看護科学学会 査読委員	日本がん看護学会	令和5年度	東京	学会員	
教授	狩野 太郎	群馬県がん看護研究会 地域貢献活動担当理事	群馬県がん看護研究会	令和5年度		看護師	
教授	狩野 太郎	日本がん看護学会 査読委員	日本がん看護学会	令和5年度		看護師	
教授	狩野 太郎	日本がん看護学会 ガイドライン委員会委員	日本がん看護学会	令和5年度		看護師	
教授	狩野 太郎	第39回日本がん看護学会学術集会企画委員	日本がん看護学会	令和5年度		看護師	
教授	大澤真奈美	日本産業衛生学会 代議員	日本産業衛生学会	令和5年度		看護師	
教授	大澤真奈美	日本看護科学学会 社員（代議員）	日本看護科学学会	令和5年度			
教授	大澤真奈美	日本看護科学学会 研究倫理審査委員会委員	日本看護科学学会	令和5年度			
教授	大澤真奈美	日本看護科学学会 和文誌編集委員会委員	日本看護科学学会	令和5年度			
教授	大澤真奈美	日本看護科学学会 和文誌専任査読委員	日本看護科学学会	令和5年度			
教授	大澤真奈美	日本地域看護学会 代議員	日本地域看護学会	令和5年度			
教授	大澤真奈美	日本地域看護学会誌 査読委員	日本地域看護学会	令和5年度			
教授	大澤真奈美	日本地域看護学会第26回学術集会査読委員	日本地域看護学会	令和5年度			
教授	大澤真奈美	日本公衆衛生看護学会 代議員	日本公衆衛生看護学会	令和5年度			
教授	大澤真奈美	日本公衆衛生看護学会誌 査読委員	日本公衆衛生看護学会	令和5年度			
教授	大澤真奈美	第12回日本公衆衛生看護学会学術集会 査読委員	日本公衆衛生看護学会	令和5年度			
教授	大澤真奈美	日本ルーラルナース学会 査読委員	日本ルーラルナース学会	令和5年度			
教授	大澤真奈美	千葉看護学会誌 専任査読者	千葉看護学会	令和5年度			
教授	大澤真奈美	第54回日本看護学会学術集会抄録査読委員	日本看護協会	令和5年度			
教授	飯田 苗恵	日本看護科学学会 和文誌専任査読委員	日本看護科学学会	令和5年度	—	—	—
教授	飯田 苗恵	日本難病看護学会 理事・代議員 教育推進委員会 委員長	日本難病看護学会	令和5年度	—	—	—
教授	飯田 苗恵	日本難病看護学会 難病看護認定実行委員会 委員	日本難病看護学会	令和5年度	—	—	—
教授	飯田 苗恵	オンラインセミナー「筋ジストロフィーを 極める」企画・運営・ファシリテーター	日本難病看護学会教育推進委員会	令和5年5月20日	—	看護職等	約60名

職位	氏 名	活動・テーマ	主 催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	飯田 苗恵	オンラインセミナー「パーキンソン病の多彩な非運動症状への対応と多職種連携」企画・運営・ファシリテーター	日本難病看護学会教育推進委員会	令和5年11月14日	—	看護職等	約160名
教授	飯田 苗恵	オンラインセミナー「神経難病療養者の意思決定から考える看護実践の臨床倫理/難治性炎症性腸管障害療養者への難病看護実践」企画・運営・ファシリテーター	日本難病看護学会教育推進委員会	令和6年3月16日	—	看護職等	約160名
教授	飯田 苗恵	日本在宅看護学会 業務委員会 委員	日本在宅看護学会	令和5年度	—	—	—
教授	飯田 苗恵	公開ワークショップ5 座長 「拡大・代替コミュニケーションで活動の世界を広げる」	日本在宅ケア学会第28回学術集会	令和5年11月12日	大阪大学コンベンションセンター	看護職、福祉職、療養者・家族等	約80名
教授	高井ゆかり	研究活動推進委員会委員 研究論文表彰委員会委員	日本老年看護学会	令和5年度			
教授	高井ゆかり	理事	日本運動器疼痛学会	令和5年度			
教授	高井ゆかり	評議員	日本慢性疼痛学会	令和5年度			
教授	高井ゆかり	代議員 国際活動推進委員会委員 和文誌専任査読委員	日本看護科学学会	令和5年度			
教授	高井ゆかり	評議員 和文誌編集委員	日本看護研究学会	令和5年度			
教授	高井ゆかり	専任査読者	日本エンドオブライフケア学会	令和5年度			
准教授	服部 美香	日本看護教育学会 理事	日本看護教育学会	令和5年度			
准教授	服部 美香	日本看護教育学会第32回学術集会 記録係責任者	日本看護教育学会	令和5年1月～令和5年10月	群馬	看護職者	約300名
准教授	金谷 悦子	日本看護教育学会会計理事	日本看護教育学会	令和5年度	—	—	—
准教授	金谷 悦子	日本看護教育学会編集委員	日本看護教育学会	令和5年度	—	—	—
准教授	金谷 悦子	日本看護教育学会第32回学術集会企画・実行委員	日本看護教育学会	令和5年度	前橋（ハイブリッド開催）	看護職者	306名
准教授	金谷 悦子	日本看護教育学会第7回定例会「日本看護教育学会 個人情報取扱規程の制定について」発表	日本看護教育学会	令和5年度	千葉（ハイブリッド開催）	学会員、看護職者	26名
准教授	橋本 晴美	日本看護科学学会 代議員	日本看護科学学会	令和5年度		学会員	
准教授	橋本 晴美	日本がん看護学会 代議員	日本がん看護学会	令和5年度		学会員	
准教授	橋本 晴美	日本がん看護学会 査読委員	日本がん看護学会	令和5年度		学会員	
准教授	上山 真美	日本プライマリ・ケア連合学会 編集委員会委員	日本プライマリ・ケア連合学会	令和5年度	Zoom、メール等	—	—
准教授	上山 真美	日本老年泌尿器科学会 評議員	日本老年泌尿器科学会	令和5年度	大津（滋賀）	—	—
准教授	上山 真美	日本看護リハビリテーション学会査読委員	日本看護リハビリテーション学会	令和5年度	メール等	—	—
准教授	上山 真美	日本創傷・オストミー・失禁管理学会査読委員	日本創傷・オストミー・失禁管理学会	令和5年度	メール等	—	—
准教授	上山 真美	高齢者排尿ガイドライン作成チームメンバー	日本看護科学学会	令和5年度	Zoom、メール等	—	—
准教授	上山 真美	生涯学生支援委員会委員	日本老年看護学会	令和5年度	Zoom、メール等	—	—

Ⅱ-1. 学会活動

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
准教授	上山 真美	看護師部会 看護学生・看護師キャリア支援部門委員	日本プライマリ・ケア連合学会	令和5年度	Zoom、メール等	—	—
准教授	上山 真美	日本エンドオブライフ学会第6回学術集会 査読委員、実行委員	日本エンドオブライフ学会	令和5年	Zoom、メール、前橋等	—	—
講師	福島 昌子	日本エンドオブライフケア学会第6回学術集会 実行運営委員	日本エンドオブライフケア学会	令和5年度9月15日～17日	群馬	医療関係職者・一般市民	約980名
講師	垣上 正裕	日本看護教育学会 第31回学術集会 企画委員(会場係)	日本看護教育学会	令和5年8月19日	前橋	看護職者	
講師	富永 明子	日本看護教育学会第32回学術集会 企画委員・実行委員	日本看護教育学会	令和5年8月19日	群馬	看護職者	306名
講師	富永 明子	日本看護教育学会 評議員	日本看護教育学会	令和5年度			
講師	高橋 裕子	日本看護教育学会 第32回学術集会 企画委員(会計責任者)	日本看護教育学会	令和5年8月20日	前橋	看護職者	
講師	高橋 裕子	日本看護教育学会 編集委員	日本看護教育学会	令和5年度	リモート会議	看護職者	
講師	高橋 裕子	日本看護教育学会 評議員	日本看護教育学会	令和5年度	リモート会議	看護職者	
講師	高橋 裕子	群馬思春期研究会 理事	群馬思春期研究会	令和5年度	群馬	看護職者・医師 養護教諭	
講師	高橋 裕子	群馬思春期研究会特別講演会 『ゲーム依存症の実際と私たちにできること』	群馬思春期研究会	令和5年11月11日	群馬県立県民健康科学大学	看護職者・医師 養護教諭等	約100名
講師	高橋 裕子	群馬思春期研究会特別講演会 『男の子に寄り添った男の子をおさざりにしないオイカワ流「男の子だよ!」』	群馬思春期研究会	令和6年1月20日	群馬県立県民健康科学大学	看護職者・医師 養護教諭等	約100名
講師	河内 直美	日本看護教育学会第33回学術集会 企画・実行委員	日本看護教育学会	令和5年度	群馬	看護職者	約300名
助教	和田 卓磨	第32回学術集会企画委員・実行委員	日本看護教育学会	令和5年8月19日～9月6日(オンライン配信期間含む)	群馬・オンライン	看護職者・看護学生	約300名
助教	鈴木 峰子	日本エンドオブライフケア学会第6回学術集会プログラム企画委員	日本エンドオブライフケア学会	令和5年9月16～17日	群馬	医療者、福祉介護関係者、行政関係者、市民等	約970名
助教	鈴木 峰子	日本エンドオブライフケア学会第6回学術集会実行運営委員	日本エンドオブライフケア学会	令和5年9月16～17日	群馬	医療者、福祉介護関係者、行政関係者、市民等	約970名
助教	鈴木 峰子	日本エンドオブライフケア学会第6回学術集会実演企画2の座長	日本エンドオブライフケア学会	令和5年9月17日	群馬	医療者、福祉介護関係者、行政関係者、市民等	約50名
助教	福田 未来	日本エンドオブライフケア学会第6回学術集会	日本エンドオブライフケア学会	令和5年度	群馬	大学教員、医療福祉専門職	980名
助教	福田 未来	専門看護師企画 地域におけるエンドオブライフケア～本人も家族も納得できる最期にむけた暮らしの支援	日本エンドオブライフケア学会	令和5年度	群馬	大学教員、医療福祉専門職	18名

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	佐々木浩二	群馬放射線腫瘍研究会 世話人	群馬放射線腫瘍研究会	令和5年度	—	—	—
教授	佐々木浩二	日本医学物理学会 代議員	日本医学物理学会	令和5年度	—	—	—
教授	佐々木浩二	日本放射線技術学会 プログラム委員会委員	日本放射線技術学会	令和5年度	—	—	—
教授	佐々木浩二	Journal of Radiation Research Associate Editor	The Japan Radiation Research Society and Japanese Society for Radiation Oncology	令和5年度	—	—	—
教授	佐々木浩二	Journal of Radiation Research 査読者	The Japan Radiation Research Society and Japanese Society for Radiation Oncology	令和5年度	—	—	—
教授	佐々木浩二	Radiological Physics and Technology 査読者	Japanese Society of Radiological Technology and Japan Society of Medical Physics	令和5年度	—	—	—
教授	佐々木浩二	群馬県放射線治療技術研究会 顧問	群馬県放射線治療技術研究会	令和5年度	—	—	—
教授	原 孝光	世話人	福島県核医学研究会	令和5年度	—	—	—
教授	原 孝光	論文査読	Radiological Physics and Technology	令和5年度	—	—	—
教授	林 則夫	日本放射線技術学会第79回総会学術大会 座長、司会	日本放射線技術学会	2023/4/13-4/16	横浜	診療放射線技師、研究者	—
教授	林 則夫	日本消化管CT技術学会第21回学術集会 講師	日本消化管CT技術学会	2023/7/15	東京	診療放射線技師、研究者	—
教授	林 則夫	日本放射線技術学会撮影部会MRI安全セミナー、講師	日本放射線技術学会	2023/12/17	香川	診療放射線技師、研究者	—
教授	林 則夫	国際磁気共鳴医学会 ISMRT 司会	ISMRT	2023/6/3-6/7	トロント	医師、診療放射線技師、研究者	—
教授	林 則夫	日本放射線技術学会 編集委員会 副編集委員長	日本放射線技術学会	2023年度	—	—	—
教授	林 則夫	日本放射線技術学会 RPT 編集委員会 編集委員	日本放射線技術学会	2023年度	—	—	—
教授	林 則夫	日本放射線技術学会 代議員	日本放射線技術学会	2023年度	—	—	—
教授	林 則夫	日本放射線技術学会 学術推進員	日本放射線技術学会	2023年度	—	—	—
教授	林 則夫	医用画像情報学会 常務理事	医用画像情報学会	2023年度	—	—	—
教授	林 則夫	The International Society for MR Radiographers & Technologists (ISMRT) National Chapters Committee委員	The International Society for MR Radiographers & Technologists (ISMRT)	2023年度	—	—	—
教授	林 則夫	The International Society for MR Radiographers & Technologists (ISMRT) Annual Meeting Program Committee (AMPC) 委員	The International Society for MR Radiographers & Technologists (ISMRT)	2023年度	—	—	—
教授	林 則夫	研究会 幹事	群馬MR研究会	2023年度	—	—	—
教授	林 則夫	研究会 顧問	群馬Gyro Users Meeting	2023年度	—	—	—

II-1. 学会活動

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	林 則夫	研究会 幹事	群馬CTMRI研究会	2023年度			
教授	林 則夫	研究会 幹事	群馬MR医学研究会	2023年度			
教授	林 則夫	Magnetic Resonance in Medical Sciences 誌 査読者	日本磁気共鳴医学会	2023年度			
教授	林 則夫	日本放射線技術学会雑誌 査読者	日本放射線技術学会	2023年度			
教授	林 則夫	医用画像情報学会雑誌 査読者	医用画像情報学会	2023年度			
教授	小倉 敏裕	日本消化管CT技術学会誌 査読	日本消化管CT技術学会	令和5年度		大学教員、医師、 放射線技師	
教授	小倉 敏裕	日本消化管CT技術学会誌編集(委員長)	日本消化管CT技術学会	令和5年度		大学教員、医師、 放射線技師	
教授	小倉 敏裕	日本看護理工学会 査読	日本看護理工学会	令和5年度		大学教員、看護師	
教授	小倉 敏裕	日本消化管CT技術学会運営委員会	日本消化管CT技術学会	令和5年4月18日(火)	WEB	大学教員、医師、 放射線技師	8名
教授	小倉 敏裕	日本消化管CT技術学会運営委員会	日本消化管CT技術学会	令和5年5月31日(水)	WEB	大学教員、医師、 放射線技師	8名
教授	小倉 敏裕	医用画像情報学会理事会	医用画像情報学会	令和5年6月3日(土)	WEB	大学教員、医師、 放射線技師	30名
教授	小倉 敏裕	医用画像情報学会令和5年度年次大会(第196回)	医用画像情報学会	令和5年6月3日(土)	WEB	大学教員、医師、 放射線技師	100名
教授	小倉 敏裕	日本消化管CT技術学会令和4年度理事会、 評議員会	日本消化管CT技術学会	令和5年6月26日(月)	WEB	大学教員、医師、 放射線技師	15名
教授	小倉 敏裕	日本消化管CT技術学会運営委員会	日本消化管CT技術学会	令和5年6月26日(月)	WEB	大学教員、医師、 放射線技師	8名
教授	小倉 敏裕	日本消化管CT技術学会理事会、評議員会	日本消化管CT技術学会	令和5年7月14日(金)	国立がんセンター 東京	大学教員、医師、 放射線技師	15名
教授	小倉 敏裕	日本消化管CT技術学会第21回学術集会 大会長	日本消化管CT技術学会	令和5年7月14日(金)	国立がんセンター 東京	大学教員、医師、 放射線技師	82名
教授	小倉 敏裕	第7回CT Colonography Webinar企画打 合せ	日本消化管CT技術学会	令和5年7月27日(木)	WEB	大学教員、放射 線技師	8名
教授	小倉 敏裕	第7回CT Colonography Webinar	日本消化管CT技術学会、エーザイ 株式会社	令和5年9月14日(木)	WEB	大学教員、医師、 放射線技師	530名
教授	小倉 敏裕	第8回CT Colonography Webinar企画打 合せ	日本消化管CT技術学会、ブラッコ 株式会社	令和5年9月26日(火)	WEB	大学教員、医師、 放射線技師	8名
教授	小倉 敏裕	医用画像情報学会令和5年度秋季(第197 回)大会	医用画像情報学会	令和5年10月7日(土)	WEB	大学教員、医師、 放射線技師	80名
教授	小倉 敏裕	医用画像情報学会理事会	医用画像情報学会	令和5年10月7日(土)	WEB	大学教員、医師、 放射線技師	30名
教授	小倉 敏裕	日本看護理工学会評議員会	日本看護理工学会	令和5年10月22日(日)	WEB	大学教員、看護師	350名
教授	小倉 敏裕	日本消化管VR学会令和5年度評議員会	日本消化管VR学会	令和6年1月20日(土)	福岡	大学教員、医師、 放射線技師	15名

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	小倉 敏裕	第6回日本消化管Virtual Reality学会総会・学術集会	日本消化管VR学会	令和6年1月20日(土)	福岡	大学教員、医師、放射線技師、看護師	100名
教授	小倉 敏裕	医用画像情報学会理事会	医用画像情報学会	令和6年2月3日(土)	WEB	大学教員、学生、放射線技師	30名
教授	小倉 敏裕	医用画像情報学会令和5年度春季(第198回)大会	医用画像情報学会	令和6年2月3日(土)	WEB	大学教員、医師、放射線技師	80名
教授	小倉 敏裕	第8回CT Colonography Webinar企画打合せ	日本消化管CT技術学会、ブラッコ株式会社	令和6年3月11日(月)	WEB	大学教員、医師、放射線技師	8名
教授	小倉 敏裕	第8回CT Colonography Webinar	日本消化管CT技術学会、ブラッコ株式会社	令和6年3月21日(木)	WEB	大学教員、医師、放射線技師	563名
教授	佐藤 哲大	電子情報通信学会和文論文誌D査読委員	電子情報通信学会	令和5年度	本学	投稿論文	
准教授	五十嵐 博	令和5年度 群馬県がん検診エックス線線撮影従事者講習会の運営	一般社団法人群馬県診療放射線技師会	令和5年10月10日、11月14日、12月12日	本学 公益財団法人群馬県健康づくり財団	診療放射線技師	延67名
准教授	五十嵐 博	日本放射線カウンスリング学会 副会長・理事・倫理委員長・RC委員長・副編集委員長・査読委員・相談員	日本放射線カウンスリング学会	令和5年度	—	診療放射線技師	—
准教授	五十嵐 博	群馬県診療放射線技師会 会長	一般社団法人群馬県診療放射線技師会	令和5年度	—	診療放射線技師	—
准教授	五十嵐 博	日本診療放射線技師会 代議員・医療被ばく安全管理委員・放射線被ばく相談員分科会長・査読委員・認定資格委員	一般社団法人日本診療放射線技師会	令和5年度	—	診療放射線技師	—
准教授	五十嵐 博	日本医療マネジメント学会 群馬県支部幹事	日本医療マネジメント学会群馬県支部	令和5年度	—	県内医療従事者	—
准教授	五十嵐 博	大山人間科学研究会 理事長	大山人間科学研究会	令和5年度	—	心理学研究者等	—
准教授	五十嵐 博	公益財団法人群馬県健康づくり財団 評議員	公益財団法人群馬県健康づくり財団	令和5年度	—	—	—
准教授	杉野 雅人	日本保健物理学会教員等協議会委員	日本保健物理学会	令和元年8月22日～	—	大学教員等	24名
准教授	渡部 晴之	医用画像情報学会 理事	医用画像情報学会	令和5年度	—	—	—
准教授	渡部 晴之	第10回コロナミドルタ科学技術振興財団助成事業深層学習実践セミナー 運営・講師	医用画像情報学会	令和5年度	前橋 オンライン	大学教員、放射線技師、学生	27名
准教授	渡部 晴之	The 2nd International Conference on Radiological Physics and Technology 座長	医用画像情報学会	令和5年度	—	—	—
准教授	川村 拓	日本放射線技師教育学会理事会	日本放射線技師教育学会	令和5年9月29日	熊本城ホール402	大学教員、放射線技師	5名
准教授	川村 拓	日本診療放射線技師会査読者	日本診療放射線技師会	令和5年度	—	—	—
准教授	川村 拓	日本診療放射線技師会 臨床実習指導教育委員	日本診療放射線技師会	令和5年度	Web	—	8名
准教授	川村 拓	日本診療放射線技師会誌査読者	日本診療放射線技師会	令和5年度	—	—	—
准教授	川村 拓	Radiological Physics and Technology 誌 査読者	日本医学物理学会・日本放射線技術学会	令和5年度	—	—	—
准教授	川村 拓	Japanese Journal of Radiology 誌 査読者	日本医学物理学会	令和5年度	—	—	—
准教授	川村 拓	研究会 幹事	群馬MR研究会	令和5年度	—	—	—
准教授	川村 拓	研究会 世話人	群馬Gyro Users Meeting	令和5年度	—	—	—

II-1. 学会活動

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
講師	丸山 星	群馬県診療放射線技師会 理事	群馬県診療放射線技師会	令和5年度	-		
講師	丸山 星	日本診療放射線技師会 業務改善推進委員会北関東地域委員	日本診療放射線技師会	令和5年度	-		
講師	丸山 星	日本放射線技術学会 標準・規格委員会 ワーキンググループ委員	日本放射線技術学会	令和5年度	-		
講師	丸山 星	日本放射線技術学会 計測部会委員会 診療領域線量計標準センター班	日本放射線技術学会	令和5年度	-		
講師	丸山 星	群馬CT研究会 世話人	群馬CT研究会	令和5年度	-		
講師	丸山 星	第78回日本放射線技術学会総会学術大会 座長(画像(マルチモダリティ)機械学習・深層学習)	日本放射線技術学会	令和5年4月16日	パシフィコ横浜	大学教員、診療放射線技師、学生	約100名
講師	丸山 星	関東甲信越診療放射線技師学術大会 座長(学生セッション2)	山梨県診療放射線技師会	令和5年6月24日	山梨大学	大学教員、診療放射線技師、学生	約50名
講師	丸山 星	JAMIT若手医用画像工学シンポジウム: SAMIT2023 座長(一般演題2)	日本医用画像工学会	令和5年9月30日	筑波大学	大学教員、診療放射線技師、学生	約100名
講師	丸山 星	第51回日本放射線技術学会秋季学術大会 座長(画像工学(画像改善・評価:CT))	日本放射線技術学会	令和5年10月28日	名古屋国際会議場	大学教員、診療放射線技師、学生	約50名
講師	丸山 星	Radiological Physics and Technology誌 査読者	日本医学物理学会・日本放射線技術学会	令和5年度	-		
講師	米持 圭太	日本診療放射線技師会 教育委員	日本診療放射線技師会	-	-		
講師	米持 圭太	群馬県診療放射線技師会 常務理事・教育部長	群馬県診療放射線技師会	-	-		
講師	米持 圭太	群馬県庁放射線技師会 地区幹事・学術部員	群馬県庁放射線技師会	-	-		
講師	米持 圭太	群馬核医学研究会 世話人	群馬核医学研究会	-	-		
講師	米持 圭太	臨床画像診断懇話会テクニカル分科会 プログラム委員(世話人兼務)	臨床画像診断懇話会テクニカル分科会	-	-		
講師	米持 圭太	群馬CT研究会 世話人	群馬CT研究会	-	-		
講師	米持 圭太	診療放射線技師のためのフレッシュャーズセミナー(令和5年度) 企画・運営・講師	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和5年4月23日	群馬	診療放射線技師	12名
講師	米持 圭太	第71回群馬核医学研究会 企画	群馬県核医学研究会	令和5年5月23日	Web	医師・診療放射線技師	約50名
講師	米持 圭太	第36回臨床画像診断懇話会テクニカル分科会 企画	臨床画像診断懇話会テクニカル分科会	令和5年6月26日	Web	診療放射線技師	約30名
講師	米持 圭太	第4回群馬県臨床検査技師会群馬県診療放射線技師会合同勉強会 運営	群馬県臨床検査技師会、群馬県診療放射線技師会	令和5年7月6日	群馬	臨床検査技師、診療放射線技師	61名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第1回群馬県開催) 開催担当者	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和5年7月29日	群馬	診療放射線技師	47名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第2回群馬県開催) 開催担当者	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和5年7月30日	群馬	診療放射線技師	46名
講師	米持 圭太	群馬県診療放射線技師会超音波講習会 運営	群馬県診療放射線技師会	令和5年8月24日	群馬	診療放射線技師	26名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム(第3回群馬県開催) 開催担当者	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和5年10月14日	群馬	診療放射線技師	43名

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム（第4回群馬県開催）開催担当者	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和5年10月15日	群馬	診療放射線技師	46名
講師	米持 圭太	群馬県診療放射線技師会超音波講習会 運営	群馬県診療放射線技師会	令和5年10月26日	群馬	診療放射線技師	約30名
講師	米持 圭太	第31回群馬CT研究会 運営	群馬CT研究会	令和5年11月25日	群馬	診療放射線技師	約50名
講師	米持 圭太	第37回臨床画像診断懇話会テクニカル分科会 企画	臨床画像診断懇話会テクニカル分科会	令和6年1月18日	Web	診療放射線技師	約30名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム（第5回群馬県開催）開催担当者	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和5年1月27日	群馬	診療放射線技師	45名
講師	米持 圭太	令和3年厚生労働省告示第273号研修における実技研修プログラム（第6回群馬県開催）開催担当者	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和6年1月28日	群馬	診療放射線技師	45名
講師	米持 圭太	診療放射線技師基礎技術講習 基礎技術コース「MRI検査」企画・運営	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和6年2月11日	群馬	診療放射線技師	44名
講師	米持 圭太	群馬県診療放射線技師会超音波講習会 運営	群馬県診療放射線技師会	令和6年2月28日	群馬	診療放射線技師	約30名
助教	津野 隼人	第126回日本医学物理学会・倫理審査委員	日本医学物理学会	令和5年度			
助教	津野 隼人	ICRPT 3rd 演題倫理審査委員	日本医学物理学会、日本放射線技術学会	令和5年度			
助教	津野 隼人	第126回日本医学物理学会、報文集編集	日本医学物理学会	令和5年度			
助教	津野 隼人	査読者	日本放射線技術学会	令和5年度			
助教	津野 隼人	北海道放射線治療技術研究会開催担当	北海道放射線治療研究会	令和5年度	札幌	診療放射線技師、 医学物理士	
助教	津野 隼人	研究会 世話人	北海道放射線治療研究会	令和5年度			
助教	津野 隼人	東京放射線治療技術研究会、4月開催担当	東京放射線治療技術研究会	令和5年度	東京	診療放射線技師、 医学物理士	
助教	津野 隼人	東京放射線治療技術研究会、7月開催担当	東京放射線治療技術研究会	令和5年度	東京	診療放射線技師、 医学物理士	
助教	津野 隼人	東京放射線治療技術研究会、3月開催総合 研究会 世話人	東京放射線治療技術研究会	令和5年度	東京	診療放射線技師、 医学物理士	
助教	津野 隼人	研究会 世話人	東京放射線治療技術研究会	令和5年度			
助教	津野 隼人	広報委員	放射線治療品質管理士認定機構	令和5年度			
助教	津野 隼人	極性効果補正係数のこと 原稿編集	放射線治療品質管理士認定機構	令和5年度			
助教	津野 隼人	プログラム委員	北海道放射線治療ひよこ会（後援： 函館放射線技師会）	令和5年度			
助教	津野 隼人	第10回 北海道放射線治療ひよこ会 座長	北海道放射線治療ひよこ会（後援： 函館放射線技師会）	令和5年度	Web	診療放射線技師、 医学物理士	
助教	津野 隼人	第13回 北海道放射線治療ひよこ会 座長	北海道放射線治療ひよこ会（後援： 函館放射線技師会）	令和5年度	Web	診療放射線技師、 医学物理士	
客員 教授	高橋 哲彦	（一社）日本磁気共鳴医学会代議員	（一社）日本磁気共鳴医学会	令和元年～現在	—	医学・工学研究 者、放射線技師	
客員 教授	高橋 哲彦	（一社）日本医用画像工学会代議員	（一社）日本医用画像工学会	令和3年～現在	—	大学教員・研究 者	

一般住民・団体対象の講演等

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	狩野 太郎	茨川市認知症サポーターステスアップ研修講師	茨川市地域包括支援センター	令和5年10月3日、31日	茨川市持社会体育館 会議室	住民	21名
教授	狩野 太郎	榛東村認知症サポーターステスアップ研修講師	榛東村地域包括支援センター	令和5年8月3日、18日、25日	榛東村保健相談センター	住民	12人
教授	狩野 太郎	がん化学療法に伴う味覚変化の特徴と対処のポイント	群馬県がん診療拠点病院協議会	令和5年9月1日～11月30日	Web配信	住民	視聴460回
講師	高橋 裕子	思春期ピアカウンセリング養成セミナー(前期コース)	群馬ピアカウンセリング研究会	令和5年6月24、25、7月1、2日	高崎健康福祉大学	大学生	約40名
講師	高橋 裕子	思春期ピアカウンセリング養成セミナー(後期コース)	群馬ピアカウンセリング研究会	令和6年2月10、11日	高崎健康福祉大学	大学生	約40名

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	原 孝光	診療放射線技師について	東京農業大学付属第二高校	令和5年6月20日	東京農業大学付属第二高校	高校2年生	12名
教授	原 孝光	身近な放射線	樹徳高校	令和5年6月22日	樹徳高校	高校2、3年生	30名
教授	原 孝光	進路説明	足利高校	令和5年7月25日	足利高校	高校2、3年生	30名
教授	原 孝光	進路説明	白鳳大学足利高校	令和5年8月25日	白鳳大学足利高校	高校1、2年生	50名
教授	原 孝光	進路説明	桐生第一高校	令和5年11月29日	桐生第一高校	高校2年生	4名
教授	原 孝光	進路説明	桐生清桜高校	令和5年12月25日	桐生清桜高校	高校1、2年生	10名
教授	原 孝光	前橋市桂萱地区骨密度測定会	桂萱地区地域づくり推進協議会事務局(桂萱公民館内)	令和5年12月10日	前橋市桂萱公民館	桂萱地区住民	100名
講師	米持 圭太	診療放射線技師の仕事について	群馬県太田市立太田高等学校	令和5年6月8日	群馬県太田市立太田高等学校	高校生	11名
助教	津野 隼人	身近な放射線～放射線治療に関わる職種～	群馬県立前橋東高等学校	令和5年10月25日(水)	群馬県立前橋東高等学校	教員・高校生	約40名
客員教授	高橋 哲彦	放射線検査装置の種類と利用目的や特徴について	県内高校令和5年度理化学部会視察研修会	令和5年6月30日	群馬県立県民健康科学大学	県内高校教員	約20名

保健医療専門職対象の講演等

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	行田 智子	予防的支援推進とうきょうモデル事業 両親調査（演習）、夫婦への支援方法	東京都医学総合研究所	令和5年6月27日	東京都 茗荷谷	看護職、心理士、ソーシャルワーカー等	50名
教授	行田 智子	養育支援訪問員の養成講座 家族の強みと課題の評価～支援計画の立て方～	HEALTHY FAMILY はままつ	令和5年9月9日	静岡県浜松市ヘルシーはままつ事務局	看護職、保育士等	4名
教授	廣瀬規代美	研究抄録の書き方と査読基準－学会発表に向けて研究抄録の作成の基本的知識を学ぼう－	群馬がん看護研究会教育委員会	令和6年1月27日	群馬県立県民健康科学大学	県内看護師	7名
准教授	清水 裕子						
講師	浅見 優子						
教授	狩野 太郎	令和5年ぐんま認定介護福祉士養成研修 講師「研究方法」[研究活動について]	群馬県保健福祉部介護高齢課	令和5年6月19日、10月5日（Web研修）	群馬県社会福祉事業団特別養護老人ホーム明風園 研修室	介護福祉士	23名
教授	狩野 太郎	令和5年度認定看護管理者制度ファーストレベル教育課程（看護情報論）	群馬県看護協会	令和5年10月26日、11月1日	群馬県看護教育センター およびWeb配信	看護師	62名
教授	狩野 太郎	がん化学療法に伴う味覚変化の概要と食べる喜びを支える看護師の役割	日本口腔ケア学会	令和5年4月21日	一橋大学一橋講堂	看護師、医師、歯科衛生士ほか	200名
教授	大澤真奈美	認定看護管理者教育課程ファーストレベル「ハルスケアシステム論Ⅰ」講師	群馬県看護協会	令和5年9月7日	群馬県看護教育センター	看護職者	63名
教授	大澤真奈美	保健師職能研修 保健師のための事例検討会「個別援助の原則」[困難事例の検討]	群馬県看護協会	令和5年12月23日	群馬県看護教育センター	保健師	26名
教授	大澤真奈美	新任保健師研修会「地域診断の実際」(前期)(後期) 講師	群馬県医師看護関係	令和5年9月1日・令和6年3月13日	群馬県立県民健康科学大学	県内新任保健師	各49名
教授	飯田 苗恵	2023年度認定看護管理者教育課程 セカンドレベル 講師 「ハルスケアシステム論Ⅱ」 [統合演習Ⅱ]	群馬県看護協会	令和5年6月9日 令和5年9月8日	群馬県看護教育センター	看護管理者	約40名
教授	飯田 苗恵	令和5年度訪問看護研修 [指導者編] [指導方法と評価] 講師	群馬県看護協会	令和5年11月28日 令和6年3月5日	群馬県看護教育センター	訪問看護師	約10名
教授	飯田 苗恵 鈴木 美雪 佐々木馨子	令和5年度在宅人工呼吸器装着者（難病・小児慢性特定疾病）支援関係者による情報交換会のアドバイザー	前橋市保健所	令和6年2月13日	前橋市保健センター	市内関連機関の支援者	約20名
教授	飯田 苗恵 鈴木 美雪 佐々木馨子	令和5年度難病療養支援者連絡会講師	高崎市保健所	令和6年3月15日	高崎市総合保健センター	市内関連機関の支援者	約20名
教授	行田 智子 宮崎有紀子	看護研究データの分析～データ分析をしてみよう	群馬県看護協会	令和5年8月18日	群馬県看護協会	看護職	43名
准教授	清水 裕子	認定看護管理者教育課程セカンドレベル [組織マネジメントの実践]	群馬県看護協会	令和4年6月18日、22日、24日	群馬県看護教育センター	県内看護職者	36名

II-3. 保健医療専門職対象の講演等

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
准教授	清水 裕子	ELNEC-J研修会ファシリテーター	岩手県立大学看護学部	令和5年12月17日	オンライン	岩手県近隣看護職者	約10名
准教授	清水 裕子	「研究抄録の書き方と査読基準」	群馬がん看護研究会	令和5年1月28日	群馬県立県民健康科学大学	県内看護職者	7名
准教授	清水 裕子	「2024年度も看護管理者が生き生きと働くために」シンポジウム司会	医療法人社団日高会 日高病院	令和6年3月29日	日高病院	看護管理者	約10名
准教授	服部 美香	「2024年度も看護管理者が生き生きと働くために」予知困難な時代における看護学教育の現状と課題」	日本看護教育学会第32回学術集会	令和5年8月19日	群馬会館	看護職者	約300名
准教授	服部 美香	スタッフ看護師の学習ニーズの解明－院内教育に活かす対象理解－	独立行政法人国立病院機構北海道東北グループ	令和5年9月26日	オンライン	看護職者	約30名
准教授	服部 美香	認定看護管理者ファーストレベル教育課程「統合演習Ⅰ」	群馬県看護協会	令和5年11月～12月	群馬県看護教育センター	看護職者	62名
准教授	服部 美香	初めての看護研究（基礎編）	新潟県看護協会	令和5年12月12日	新潟県看護研修センター	看護職者	37名
准教授	上山 真美	看護研究に関する研修及び研究発表会	公立館林厚生病院	令和5年5月～令和6年3月	公立館林厚生病院	看護師	約20名
准教授	上山真美(他)	「下部尿路機能障害の治療とケア研修会」	全日本病院協会 群馬県支部	令和5年10月20日、21日	公益財団法人脳血管研究所 研宗館	医師・看護師	45名
講師	鈴木 美雪	令和5年度難病患者療養支援実務者研修会	群馬県吾妻保健福祉事務所	令和5年3月12日	中之条ツインプラザ	訪問看護師、介護支援専門員等	約50名
講師	佐々木馨子	講師・ファシリテーター	群馬県館林保健福祉事務所	令和5年1月31日	館林保健福祉事務所	保健師	約20名
講師	鈴木 美雪	令和5年度実践力アップ事例検討会 講師	群馬県立精神医療センター	令和5年5月24日	群馬県立精神医療センター	看護職者	40名
講師	垣上 正裕	看護研究における研究テーマの明確化	群馬県立精神医療センター	令和5年11月～12月	群馬県看護教育センター	看護職者	62名
講師	河内 直美	群馬県看護協会ファーストレベル 統合演習Ⅰ ファシリテーター	群馬県看護協会	令和5年3月9日・10日	群馬県立県民健康科学大学	看護職者	約30名
講師	河内 直美	臨地実習指導研修会 運営	日本看護教育学会	令和5年8月10日、8月30日	群馬県看護協会	看護職	22名
講師	佐々木馨子	訪問看護師養成研修「ステップ1」訪問看護課程	群馬県看護協会	令和5年8月24日	群馬県看護協会教育センター	看護職員	
講師	戸谷 幸佳	看護職員認知症対応力向上研修	公益社団法人群馬県看護協会	令和5年9月27日	特別養護老人ホーム明風園	介護施設職員	
講師	戸谷 幸佳	高齢者ケア専門研修・チームケアのためのコミュニケーション講座	社会福祉法人群馬県社会福祉事業団研修指導センター	令和5年10月15日	群馬県立県民健康科学大学	臨床放射線技師	約40名
助教	塩澤 麻子	「令和3年度厚生労働省告示第273号（告示研修）」開催に伴う講師の依頼について	群馬県立県民健康科学大学	令和6年1月28日	群馬県立県民健康科学大学	臨床放射線技師	約40名
助教	塩澤 麻子	「令和3年度厚生労働省告示第274号（告示研修）」開催に伴う講師の依頼について	群馬県立県民健康科学大学	令和5年11月2日、15日、22日、29日、12月6日	群馬県看護協会	看護職者	約60名
助教	和田 卓磨	認定看護管理者教育課程ファーストレベル「統合演習」ファシリテーター	群馬県看護協会	令和5年7月30日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	約50名
助教	和田 卓磨	診療放射線技師厚生労働省告示第273号研修 実技研修講師	群馬県診療放射線技師会				

職位	氏 名	活動・テーマ	主 催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
助教	和田 卓磨	臨地実習指導研修会 会場設置・運営	日本看護学会教育学会	令和5年3月9、10日	群馬県立県民健康科学大学	看護職者	約30名
助教	鈴木 峰子	下部尿路機能障害の治療とケア研修会・排泄ケア	全日本病院協会群馬県支部	令和5年10月22日	公益財団法人脳血管研究所 研宗館 てんぼくホール	病院看護師	約30～40名
助教	福田 未来	看護職員認知症対応力向上研修	群馬県看護協会	令和5年8月24日	群馬県看護協会	看護師	約120名
助教	福田 未来	保健師基礎看護技術研修	群馬県看護協会	令和5年9月26日	群馬県立県民健康科学大学	保健師	約20名
助教	福田 未来	下部尿路機能障害の治療とケア研修会	全日本病院協会群馬県支部	令和5年10月22日	美原記念病院	看護師	約40名

【診療放射線学部】

職位	氏 名	活動・テーマ	主 催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	瀬川 篤記	群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習会「じん肺の画像診断」	群馬県診療放射線技師会	令和5年11月14日	群馬県立県民健康科学大学	県内の診療放射線技師	約50名
准教授	五十嵐 博	診療放射線技師のタスクシフト	群馬県診療放射線技師会・群馬県臨床検査技師会合同勉強会	令和5年7月6日	本学 大講義室	診療放射線技師・臨床検査技師	61名
准教授	五十嵐 博	傾聴訓練指導	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和5年7月23日	Web開催	診療放射線技師	53名
准教授	五十嵐 博	閉会挨拶	群馬CT・MRI研究会	令和5年8月26日	前橋ロイヤルホテル	医師・診療放射線技師	78名
准教授	五十嵐 博	傾聴訓練指導	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和5年12月10日	Web開催	診療放射線技師	48名
准教授	五十嵐 博	傾聴訓練指導	日本放射線カウンセリング学会	令和6年1月21日	Web開催	診療放射線技師	7名
准教授	五十嵐 博	傾聴訓練指導	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和6年2月18日	Web開催	診療放射線技師	60名
准教授	五十嵐 博	放射線被ばく相談員分科会の紹介と活動、最近のトピックス	公益社団法人東京都診療放射線技師会	令和6年2月20日	Web開催	診療放射線技師	100名
准教授	五十嵐 博	放射線被ばく相談員分科会の紹介	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和6年2月23日	Web開催	診療放射線技師	79名
准教授	五十嵐 博	告示研修 ファシリテーター	公益社団法人日本診療放射線技師会	令和5年7月29日、7月30日、10月14日、10月15日、令和6年1月27日、1月28日	本学多目的ホール（ほか）	診療放射線技師	272名
准教授	渡部 晴之	放射線について	学校法人橘心会 幸手看護専門学校	令和6年1月10日	幸手看護専門学校	学生	
准教授	川村 拓	臨床実習で考慮すべきハラスメント	第38回日本診療放射線技師学術大会	令和5年9月29日	熊本城ホール	診療放射線技師	約40人
准教授	川村 拓	JARTが認定している臨床実習指導施設認定の紹介	第38回日本診療放射線技師学術大会	令和5年10月1日	熊本城ホール	診療放射線技師	約20人
講師	米持 圭太	診療放射線技師のためのフレッシヤーズセミナー（令和5年度）「エチケット・マナー講座」	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和5年4月23日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	12名
講師	米持 圭太	診療放射線技師のためのフレッシヤーズセミナー（令和5年度）「医療コミュニケーション」	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和5年4月23日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	12名
講師	米持 圭太	診療放射線技師のためのフレッシヤーズセミナー（令和5年度）「医療被ばくの現状とその低減に向けた取り組み」	日本診療放射線技師会 群馬県診療放射線技師会	令和5年4月23日	群馬県立県民健康科学大学	診療放射線技師	12名

II-4. 行政組織での活動

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
助教	津野 隼人	放射線治療 乳腺 VMAT 治療計画アドバイザー	前橋赤十字病院	令和6年1月15日	前橋赤十字病院	医師、診療放射線技師、医学物理士、看護師	
助教	津野 隼人	放射線治療 乳腺 VMAT 照射技術アドバイザー	前橋赤十字病院	令和6年2月1日	前橋赤十字病院	医師、診療放射線技師、医学物理士、看護師	
助教	津野 隼人	水吸収線量計測 QAQC アドバイザー	日本大学医学部附属板橋病院	令和5年	日本大学医学部附属板橋病院	診療放射線技師、医学物理士	
助教	津野 隼人	研究指導(第49回日本診療情報管理学会：特別賞受賞)	東京医療秘書福祉 & IT 専門学校	令和5年9月	東京医療秘書福祉 & IT 専門学校	教員・学生	5名

行政組織での活動

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	横山 京子	群馬県健康福祉部医学系研究等に係る倫理委員会委員	群馬県健康福祉課	令和5年9月～令和6年3月	Web会議、紙面会議	群馬県職員	
教授	行田 智子	予防的支援推進とうきょうモデル事業アドバイザーボード委員	東京都医学総合研究所	令和5年4月～令和6年3月	東京都、リモート	看護職、心理士、ソーシャルワーカー等	
教授	狩野 太郎	群馬県がん診療連携拠点病院連絡協議会市民講座企画ワーキングメンバー	群馬県／群馬県診療連携拠点病院連絡協議会	令和5年4月～7月	群馬大学医学部附属病院	患者・一般市民	Web配信
教授	狩野 太郎	群馬県がん対策協議会がん対策推進計画検討部会委員	群馬県保健福祉部感染症・がん疾病対策課	令和5年4月～令和5年3月	群馬県庁	—	—
教授	大澤真奈美	県民健康・栄養調査企画解析検討委員会	群馬県健康福祉部保健予防課	令和5年度	群馬県庁	—	—
教授	大澤真奈美	群馬県アルコール健康障害対策連絡協議会委員	群馬県健康福祉部障害政策課	令和5年度	群馬県庁	—	—
教授	大澤真奈美	群馬県開発審査会委員	群馬県県土整備部建築課	令和5年度	群馬県庁	—	—
教授	大澤真奈美	群馬県建築審査会会長代理	群馬県県土整備部建築課	令和5年度	群馬県庁	—	—
教授	大澤真奈美	群馬県廃棄物処理施設等専門委員会委員	群馬県廃棄物・リサイクル課	令和5年度	群馬県庁	—	—
教授	大澤真奈美	群馬県公害審査会委員	群馬県環境森林部環境保全課	令和5年度	群馬県庁	—	—
教授	大澤真奈美	前橋市食育推進会議会長	前橋市健康増進課	令和5年度	前橋市保健センター	—	—
教授	大澤真奈美	前橋市介護保険認定審査会委員	前橋市介護保険課	令和5年度	前橋市役所	—	—
教授	大澤真奈美	前橋市自立支援給付認定審査会委員	前橋市障害福祉課	令和5年度	前橋市保健所	—	—
教授	飯田 苗恵	前橋市特別養護老人ホーム等設置法人選定委員会副委員長	前橋市	令和5年度	前橋市役所	—	—
教授	高井ゆかり	群馬県高齢介護施策推進協議会委員	群馬県高齢介護課	令和5年度	—	—	—
准教授	上山 真美	前橋市認知症初期集中支援チーム	前橋市長寿包括ケア課	令和5年度	前橋市包括支援センター西部等 対面／リモート等	—	—
講師	塩ノ谷朱美	前橋市健康づくり推進協議会	前橋市健康増進課	令和5年4月～令和6年3月	—	—	—
講師	塩ノ谷朱美	前橋市環境審議会	前橋市環境政策課	令和5年4月～令和6年3月	—	—	—
講師	塩ノ谷朱美	群馬県若い世代食育推進協議会	群馬県健康福祉部健康長寿社会づくり推進課	令和5年4月～令和6年3月	—	—	—

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
講師	垣上 正裕	中堅看護教諭資質向上研修	群馬県	令和5年10月25日	群馬県総合教育センター	看護教諭	36名
講師	垣上 正裕	高校中堅教諭資質向上研修	群馬県	令和5年11月	オンライン動画	高校教諭	82名
講師	生方 尚絵	第5次ぐんまDV対策推進計画及び困難な問題を抱える女性への支援計画（仮称）検討ワーキンググループ	生活こども課男女共同参画	令和6年5月～11月	WEB会議		

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	佐々木浩二	放射線治療品質管理委員会 委員	愛知県がんセンター	令和5年度	—	—	—
教授	佐々木浩二	放射線・陽子線治療品質管理委員会 委員	静岡県立静岡がんセンター	令和5年度	—	—	—
教授	原 孝光	量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学部門 高崎量子応用研究所 協力研究員	量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学部門 高崎量子応用研究所	令和4年度	量子科学技術研究開発機構 量子ビーム科学部門 高崎量子応用研究所		
教授	瀬川 篤記	診療（病理診断）の支援	桐生厚生総合病院	令和5年4月～令和6年3月	桐生厚生総合病院	患者様	のべ約250例
准教授	五十嵐 博	ぐんま地域医療会議 構成員	群馬県医務課	令和5年6月～令和6年3月	—	—	—
准教授	杉野 雅人	環境放射線測定に関する協力研究員	国立研究開発法人 量子科学技術研究機構 福島再生支援研究部	令和5年4月～令和6年3月	量子科学技術研究機構	—	—
准教授	杉野 雅人	前橋市放射線管理アドバイザー	前橋市環境部環境森林課	令和5年4月～令和6年3月	—	—	—
准教授	杉野 雅人	みどり市放射線対策アドバイザー	みどり市市民部生活環境課	令和5年4月～令和6年3月	—	—	—
准教授	杉野 雅人	川場村放射線対策アドバイザー	川場村役場むらづくり振興課	令和5年4月～令和6年3月	—	—	—
准教授	川村 拓	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 協力研究員	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所	令和5年度	—	—	—
准教授	川村 拓	国立研究開発法人 理化学研究所 客員研究員	国立研究開発法人 理化学研究所	令和5年度	—	—	—

任意団体での活動

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時（期間）	実施場所	対象者	参加人数
教授	横山 京子	群馬県看護協会倫理委員会委員長	群馬県看護協会	令和5年度	群馬県看護協会		7名
教授	横山 京子	群馬県看護系大学協議会	群馬県看護系大学協議会	令和5年度	WEB		7名
教授	横山 京子	伊勢崎市民病院経営検討委員会副会長	伊勢崎市民病院経営検討委員会	令和5年2月10日、5月25日、10月12日、12月21日	伊勢崎市役所、伊勢崎市民病院		7名
教授	行田 智子	看護・助産教育支援フォーラム	倫理委員	令和5年度	—	—	
教授	廣瀬規代美	群馬がん看護研究会 理事兼教育委員会委員長	群馬がん看護研究会	令和5年度	群馬大学他	会員等	

II-5. 任意団体での活動

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時(期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	廣瀬規代美	第19回群馬がん看護フォーラム	群馬がん看護研究会	令和5年5月27日	群馬大学他	会員等	145名
教授	狩野 太郎	群馬県がん患者ミーティング2024企画・運営、司会進行	群馬県がん患者団体連絡協議会	令和6年2月10日	前橋けやきウォーク	患者・一般市民	15名
教授	狩野 太郎	リレーフォーライフジャパン2023ぐんま副実行委員長	日本対がん協会、リレーフォーライフジャパンぐんま実行委員会	令和5年10月7日-8日	ALSOK ぐんま総合スポーツセンター	患者・一般市民(ほか)	4500名
教授	狩野 太郎	群馬県がん患者団体連絡協議会 運営委員	群馬県がん患者団体連絡協議会	令和5年4月-6年3月	群馬県健康づくり財団	患者	-
教授	狩野 太郎	ホリデーインまえばし カンパッジ製作ブース出展・本学ボランティアサークル	ホリデーインまえばし実行委員会	令和5年8月20日	前橋敷島公園	一般市民	350名
教授	大澤真奈美	地域/公衆衛生看護学教育方法の開発	大学間連携による地域看護学教育FD戦略会議	令和5年度	開催当番大学等	大学教員(全国12大学)	約20名
教授	飯田 苗恵	認定看護師教育課程入試委員会 外部委員	高崎健康福祉大学看護実践開発センター	令和5年度	高崎健康福祉大学	-	-
准教授	鶴生川恵美子	中学生の学修支援	NPO 教育支援協会北関東	令和5年4月~令和6年3月	地域公民館	中学生	約4名
准教授	清水 裕子	群馬がん看護研究会 理事兼教育委員	群馬がん看護研究会	令和5年度	-	-	-
准教授	上山 真美	群馬コンチネンスフォーラム	群馬コンチネンスフォーラム幹事(第一部座長)	令和5年度	対面+リモート開催	医療関係者	約50名
講師	垣上 正裕	全労働省組合関東地方協議会 ストレス対処法	厚労省	令和5年7月15日	新潟県	厚労省職員	72名
講師	垣上 正裕	めぶくビジネススクール	前橋市他	令和6年2月3日	前橋工科大学	企業経営者	約30名
講師	富永 明子	群馬県立県民健康科学大学看護学部同窓会 理事	群馬県立県民健康科学大学看護学部同窓会	令和5年度			
講師	高橋 裕子	大学生によるピアエデュケーション [This is me!-それぞれの輝きを大切に-]	群馬ピアカウンセリング研究会	令和5年9月8日	群馬県立聾学校	高等部生徒	13名
講師	高橋 裕子	大学生によるピアエデュケーション [考えよう人との関わり方-自分も相手も大切に-]	群馬ピアカウンセリング研究会	令和6年1月12日	群馬県立太田フレックス高等学校	生徒	25名
講師	高橋 裕子	大学生によるピアエデュケーション [考えよう性のこと-みんなに知ってほしい女の子の生理-]	群馬ピアカウンセリング研究会	令和6年3月8日	群馬県立梅田中学校	生徒	11名
講師	佐々木馨子		難病看護を考える会：群馬県立県民健康科学大学看護学部地域健康看護学教員	令和6年3月23日	群馬県立県民健康科学大学多目的ホール	看護師、保健師、理学療法士、作業療法士等	約20名
講師	鈴木 美雪		ふるさとづくり市民フェスティバル企画運営委員会	令和5年5月28日	館林市文化会館	一般市民	15名
助教授	高橋 佳織		日本アンガーマネジメント協会 親子イベント	令和5年8月6日	館林市文化会館	一般市民	30名
教授	飯田 苗恵						
講師	島田 葉子						
講師	島田 葉子						

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	下瀬川正幸	大学機関別認証評価 評価委員	一般財団法人大学教育質保証・評価センター	令和5年度	Web、東京	-	-
教授	下瀬川正幸	全国診療放射線技師教育施設協議会役員会理事 (総務担当)	全国診療放射線技師教育施設協議会	令和5年4月1日～令和7年3月31日	Web、福岡市	大学教員等	10名
教授	下瀬川正幸	第68回全国診療放射線技師教育施設協議会定時総会 総合同会	全国診療放射線技師教育施設協議会	令和5年4月1日～令和7年3月31日	福岡ガーデンプレス (福岡市)	大学教員等	107名
教授	下瀬川正幸	放射線部門責任者会議 メンバー	一般社団法人群馬県診療放射線技師会	令和5年度	Web、群馬	-	-
教授	佐々木浩二	放射線治療品質管理委員会 外部委員	社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院	令和5年度	-	-	-
教授	瀬川 篤記	診療 (病理診断) の支援	医療法人社団 美心会 黒沢病院	令和5年4月～令和6年3月	黒沢病院 (高崎)	患者様	のべ約50例
准教授	五十嵐 博	群馬県環境アドバイザー	群馬県環境アドバイザー協会	令和5年度	-	-	-
准教授	杉野 雅人	社会福祉法人 明正会 外部評議員	社会福祉法人 明正会	令和5年4月～令和6年3月	-	-	10名
准教授	川村 拓	桃の木リバーを愛する会：花壇苗植え	桃の木リバーを愛する会	令和5年5月31日	桃の木川	-	-
准教授	川村 拓	桃の木リバーを愛する会：花壇苗植え	桃の木リバーを愛する会	令和5年9月11日	桃の木川	-	-
准教授	川村 拓	桃の木リバーを愛する会：花壇および周囲草刈り等	桃の木リバーを愛する会	令和5年11月15日	桃の木川	-	-
講師	丸山 星	診療放射線技師国家試験 模擬試験問題・解説の作成 (医用工学)	株式会社シーイー・フォックス	令和5年度	-	-	-
講師	丸山 星	診療放射線技師国家試験 模擬試験問題・解説の作成 (画像工学)	株式会社シーイー・フォックス	令和5年度	-	-	-
助教	津野 隼人	第15回診療放射線技師100人会議 (診療放射線技師のモチベーション維持～ドラゴンクエストを例に)	診療放射線技師100人会議	令和5年	Web	一般公開	-

他教育機関非常勤講師

【看護学部】

職位	氏名	活動・テーマ (科目名等)	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	行田 智子	妊娠期の助産診断技術学	高崎健康福祉大学大学院	令和5年4月1日～9月22日	高崎健康福祉大学大学院	助産専攻院生	4名
教授	狩野 太郎	本庄児玉看護専門学校非常勤講師 (研究の基礎 文献検索入門、研究方法論 (1) 調査・実験研究)	本庄児玉看護専門学校	令和5年10月23日	本庄児玉看護専門学校	看護学生	40名
教授	狩野 太郎	東群馬看護専門学校非常勤講師 (看護と情報科学)	東群馬看護専門学校	令和5年4月12日～8月8日	東群馬看護専門学校	看護学生	70名

職位	氏名	活動・テーマ (科目名等)	主 催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	大澤真奈美	産業保健 非常勤講師	足利大学看護学部	令和5年9月～10月	足利大学看護学部	看護学生	約70名
教授	大澤真奈美	公衆衛生学 非常勤講師	新潟薬科大学	令和5年度夏期集中	新潟薬科大学	看護学生	約80名
教授	大澤真奈美	公衆衛生学 非常勤講師	上尾中央看護専門学校	令和5年度春期集中	上尾中央看護専門学校	看護学生	約100名
教授	宮崎有紀子	疫学	群馬パース大学	令和5年4月1日～9月30日	群馬パース大学	看護学生	約80名
教授	宮崎有紀子	疫学/保健統計学	高崎健康福祉大学	令和5年9月28日～令和6年2月29日	高崎健康福祉大学	看護学生	約100名
教授	高井ゆかり	非常勤講師・「看護学研究概論」	群馬大学大学院	令和5年5月31日、6月28日	リモートでの講義	博士後期課程学生	
准教授	鶴生川恵美子	医療英語	前橋東看護学校	平成5年4月27日～9月7日	前橋東看護学校	看護学生	約34名
准教授	鶴生川恵美子	英語文学	育英短期大学	令和6年1月4日～5日	育英短期大学	大学生	6名
准教授	鶴生川恵美子	世界の言語と文化	育英短期大学	令和5年9月28日～令和6年1月26日	育英短期大学	大学生	8名
准教授	鶴生川恵美子	放送大学・面接授業：「文学と映画で学ぶ英語と文化1」	放送大学・群馬学習センター	令和5年5月20日～21日	放送大学・群馬学習センター	一般	約15名
准教授	服部 美香	看護研究	深谷大里看護専門学校	令和5年4月～5月	深谷大里看護専門学校	看護学生	約40名
講師	垣上 正裕	老化と発達の理解	群馬パース大学福祉専門学校	令和5年4月～5月	群馬パース大学福祉専門学校	福祉専門学校学生	40名
講師	佐々木馨子	成人看護学名論Ⅰ「神経難病によりセルフケアの再獲得が必要な人の看護」	渋川看護専門学校	令和5年7月11日	渋川看護専門学校	看護学生	約40名
助教	田村 香奈	家族看護学	東群馬看護専門学校	令和5年10月30日～令和6年2月27日	東群馬看護専門学校	看護学生	70名
助教	鈴木 峰子	老年看護アセスメント論	群馬大学大学院専門看護師課程	令和5年7月24日	群馬大学	大学院生	4名
助教	福田 未来	老年在宅看護論	群馬大学	令和5年9月4日	群馬大学	看護大学院生	4名

【診療放射線学部】

職位	氏名	活動・テーマ (科目名等)	主 催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	下瀬川正幸	放射線学シミュレータ特論、放射線画像解析特論Ⅱ	群馬大学大学院医学系研究科	令和5年度	—	—	—
教授	原 孝光	群馬大学腫瘍放射線学講座協力研究員	群馬大学	令和5年4月～令和6年3月	群馬大学		
教授	原 孝光	放射線管理計測学特論	群馬大学大学院医学系研究科	令和5年4月～令和6年3月	群馬大学		
教授	原 孝光	医療基礎生物学	群馬パース大学	令和5年4月～令和5年9月	群馬パース大学		

職位	氏名	活動・テーマ (科目名等)	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
教授	林 則夫	非常勤講師：放射線画像技術学特論	群馬大学大学院医学系研究科	2023年度			
教授	小倉 敏裕	「放射線検査」	前橋東看護学校	令和5年4月11日～ 令和4年5月9日	前橋東看護学校	看護学生	50名
教授	瀬川 篤記	臨床実習	群馬大学	令和5年6月 ～令和5年11月	群馬大学医学部附属病院	医学科学生および 初期研修医	のべ約 20名
教授	瀬川 篤記	講義 (疾病治療論 各論Ⅰ)	群馬医療福祉大学	令和5年9月 ～令和5年12月	群馬医療福祉大学 看護学部	看護学部生	90名
教授	佐藤 哲大	看護と情報科学	東群馬看護専門学校	令和5年4月26日～ 8月2日	東群馬看護専門学校	看護学生	約80名
准教授	杉野 雅人	放射線安全管理特論	群馬大学大学院医学系研究科	令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	—	—	—
准教授	長島 宏幸	人間工学	前橋高等看護学院	2023年8月31日～ 12月7日	前橋高等看護学院	看護学生	38名
准教授	多鹿 友喜	人体の構造と機能Ⅲ	前橋東看護学校	令和5年4月25日～ 7月4日	前橋東看護学校	看護学生	35名
准教授	多鹿 友喜	人体の構造と機能Ⅳ	前橋東看護学校	令和5年9月12日～ 11月14日	前橋東看護学校	看護学生	35名
准教授	川村 拓	医用画像情報学実験	東京都立大学	令和5年4月1日～ 令和5年9月30日	東京都立大学	放射線学生	約40名
准教授	川村 拓	東京都立大学客員研究員	東京都立大学	令和5年度	東京都立大学	—	—
講師	丸山 星	医療画像情報学Ⅰ	群馬パース大学	令和5年4月 ～令和5年8月	群馬パース大学	放射線科学学生	約80名
講師	丸山 星	医療画像情報学Ⅱ	群馬パース大学	令和5年10月 ～令和5年2月	群馬パース大学	放射線科学学生	約80名
講師	丸山 星	医用画像処理工学	群馬パース大学	令和5年4月 ～令和5年8月	群馬パース大学	臨床工学科学学生	約40名
講師	米持 圭太	看護と情報科学	東群馬看護専門学校	令和5年6月28日、 令和5年7月5日	東群馬看護専門学校	看護学生	70名
助教	津野 隼人	医療管理総論	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和5年4月～令和 5年7月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理学 科学学生	約15名
助教	津野 隼人	医療用語Ⅱ (英語)	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和5年4月～令和 5年7月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理学 科学学生	約15名
助教	津野 隼人	医学・医療用語	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和5年4月～令和 5年7月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理学 科学学生	約15名
助教	津野 隼人	医療管理各論Ⅰ	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和5年9月～令和 6年3月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理学 科学学生	約15名
助教	津野 隼人	医療管理各論Ⅲ	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和5年9月～令和 6年3月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理学 科学学生	約15名
助教	津野 隼人	医療統計Ⅰ	東京医療秘書 & IT 専門学校	令和5年9月～令和 6年3月	東京医療秘書 & IT 専門学校	診療情報管理学 科学学生	約15名

職位	氏名	活動・テーマ (科目名等)	主催	実施日時 (期間)	実施場所	対象者	参加人数
客員教授	高橋 哲彦	客員研究員 (技能学習プラットフォームの構築とその効果検証)	東京都立産業技術大学院大学	令和3年3月25日～ 現在	東京・前橋	—	—

報道記事

【看護学部】

職位	氏名	報道機関	全国版・地方版 (番組名)	掲載日時	テーマ

【診療放射線学部】

職位	氏名	報道機関	全国版・地方版 (番組名)	掲載日時	テーマ
教授	林 則夫	上毛新聞		2月20日	県民健康科学大と韓国・東西大学校 共同研究や研修学術交流協定について
教授	小倉 敏裕	群馬テレビ	地方 (各地)	収録日11月7日	診療放射線学部紹介 (ダイアンのガチでごめんやす)
准教授	五十嵐 博	ケーブルテレビ株式会社	地方版	令和5年10月9日～ 10月10日	館林地区産業安全衛生大会

群馬県立県民健康科学大学地域連携センター設置運営規程

(設置)

第1条 この規程は、群馬県公立大学法人組織規程第7条の規定に基づき、群馬県立県民健康科学大学地域連携センター（以下「センター」という。）の設置及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、県立の医療系大学として、大学が所有する知的財産や研究成果等を、県民をはじめ、広く教育機関、医療機関、医療従事者、行政等に対し還元することにより、県民の保健、医療及び福祉の向上に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次のことに係る事業を実施するものとする。

- (1) 看護学教員養成課程に関すること
- (2) 看護学実習指導者養成講習会に関すること
- (3) 看護師特定行為研修課程に関すること
- (4) 県立病院・県内病院等との連携に関すること
- (5) 看護職に対する研究支援に関すること
- (6) 放射線教育・研修に関すること
- (7) 放射線測定等に関すること
- (8) 教育普及に関すること
- (9) 地域との連携推進に関すること
- (10) 県と連携した健康福祉政策に関すること
- (11) 健康寿命延伸プロジェクトに関すること
- (12) その他前条の目的を達成するために必要なこと

(組織)

第4条 センターには、センター長及び副センター長を置く。

- 2 前条に定める事業を推進し、目的を達成するため、地域連携センター運営会議（以下「センター運営会議」という。）を設置する。
- 3 センター運営会議に、前条の事業を実施するため、地域連携センター運営委員会（以下「センター運営委員会」という。）を置く。
- 4 センター運営会議及びセンター運営委員会は、センター長が主宰する。
- 5 副センター長は、センター長を補佐する。

(協議及び報告)

第5条 センター長は、センター事業の運営方針や進捗状況等について、大学運営会議に協議及び報告するものとする。

(事務)

第6条 センター運営会議及び運営委員会の事務は、事務局教務係で処理する。

(委任)

第7条 この規程に定めるもののほか、センターの設置運営に関し必要な事項については、学長が別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

群馬県立県民健康科学大学地域連携センター運営会議及び地域連携センター運営委員会設置運営細則

(趣旨)

第1条 この細則は、群馬県立県民健康科学大学地域連携センター設置運営規程第7条の規定に基づき、地域連携センター運営会議（以下「センター運営会議」という。）及び地域連携センター運営委員会（以下「センター運営委員会」という。）の組織及び運営等について必要な事項を定めるものとする。

(センター運営会議の組織)

第2条 センター運営会議は、次の構成員によって組織する。

- (1) 地域連携センター長（以下「センター長」という。）及び副センター長
- (2) 学部長
- (3) センター事業の担当者から互選により選ばれた責任者
- (4) 事務局長
- (5) 学外有識者
- (6) 県職員の内からセンター長が必要と認める者
- (7) その他センター長が必要と認める者

(センター運営会議委員の任期)

第3条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 委員に欠員が生じた場合の後任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(センター運営会議の運営)

第4条 センター運営会議は、センター長が招集し、その議長となる。

- 2 センター長が出席できないときは、センター長が指名する者がその職務を代理する。
- 3 センター運営会議は、構成員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。
- 4 センター運営会議の議事は、出席委員の過半数によりこれを決定し、可否同数のときは議長が決定する。

(センター運営会議の審議事項)

第5条 センター運営会議は、次の事項について審議する。

- (1) 地域連携センターの運営方針に関する事項
- (2) 地域連携センターの事業計画の策定及び評価に関する事項
- (3) 地域連携センターに係る規程の制定又は改廃に関する事項
- (4) その他センター長が必要と認める事項

(センター運営委員会の組織)

第6条 センター運営委員会は、次の構成員によって組織する。

- (1) センター長及び副センター長
- (2) 学部長
- (3) センター事業の担当者から互選により選ばれた責任者
- (4) その他センター長が必要と認める者

(センター運営委員会委員の任期)

第7条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

- 2 委員に欠員が生じた場合の後任委員の任期は、前任者の残任期間とする。

Ⅲ 関連規程

(センター運営委員会の運営)

第8条 センター運営委員会は、センター長が招集し、その議長となる。

- 2 センター長が出席できないときは、センター長が指名する者がその職務を代理する。
- 3 センター運営委員会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ開くことができない。
- 4 センター運営委員会の議事は、出席委員の過半数によりこれを決定し、可否同数のときは議長が決定する。

(センター運営委員会の審議事項)

第9条 センター運営委員会は、次の事項について審議する。

- (1) 地域連携センターの運営及び事業の実施に関する事項
- (2) 地域連携センターの事業計画及び評価の検討に関する事項
- (3) 地域連携センターに係る規程の制定又は改廃の検討に関する事項
- (4) その他センター長が必要と認める事項

(委員以外の者の出席)

第10条 センター運営会議及びセンター運営委員会の議長は、会議の運営上必要と認めるときは、委員以外の者に出席を求めることができる。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

令和 5 年度地域貢献活動報告書

発行者 群馬県立県民健康科学大学
〒371-0052 群馬県前橋市上沖町323-1
TEL 027-235-1211
FAX 027-235-2501
印刷所 朝日印刷工業株式会社

